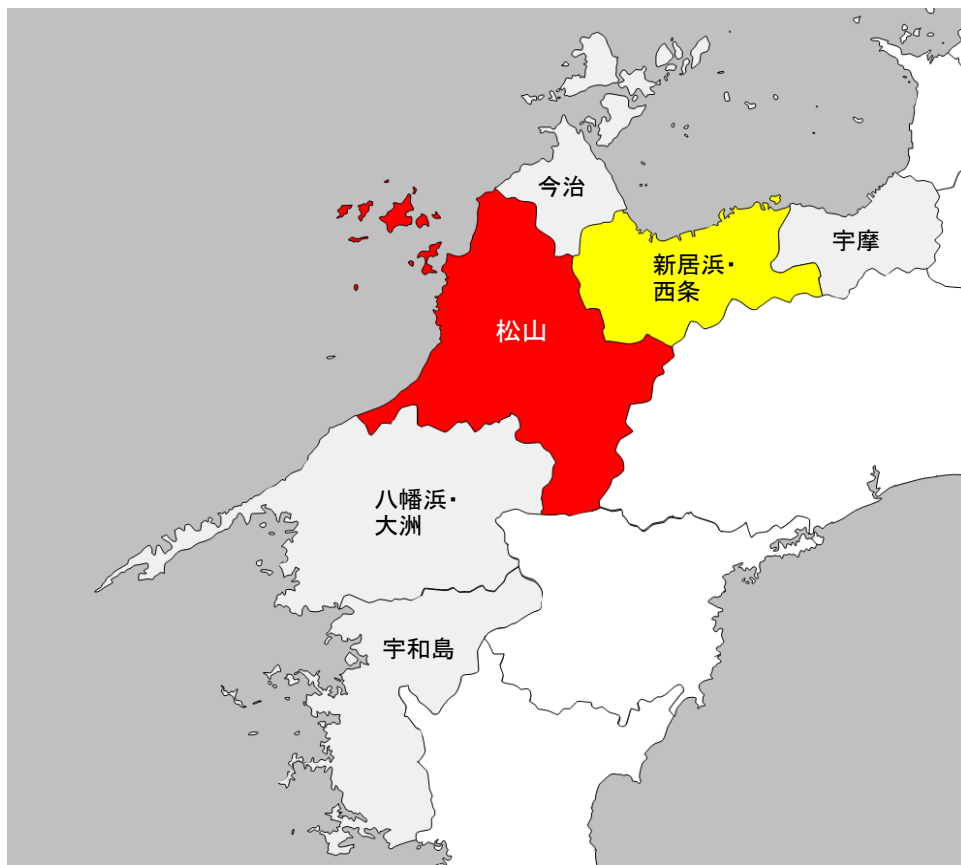


38. 愛媛県

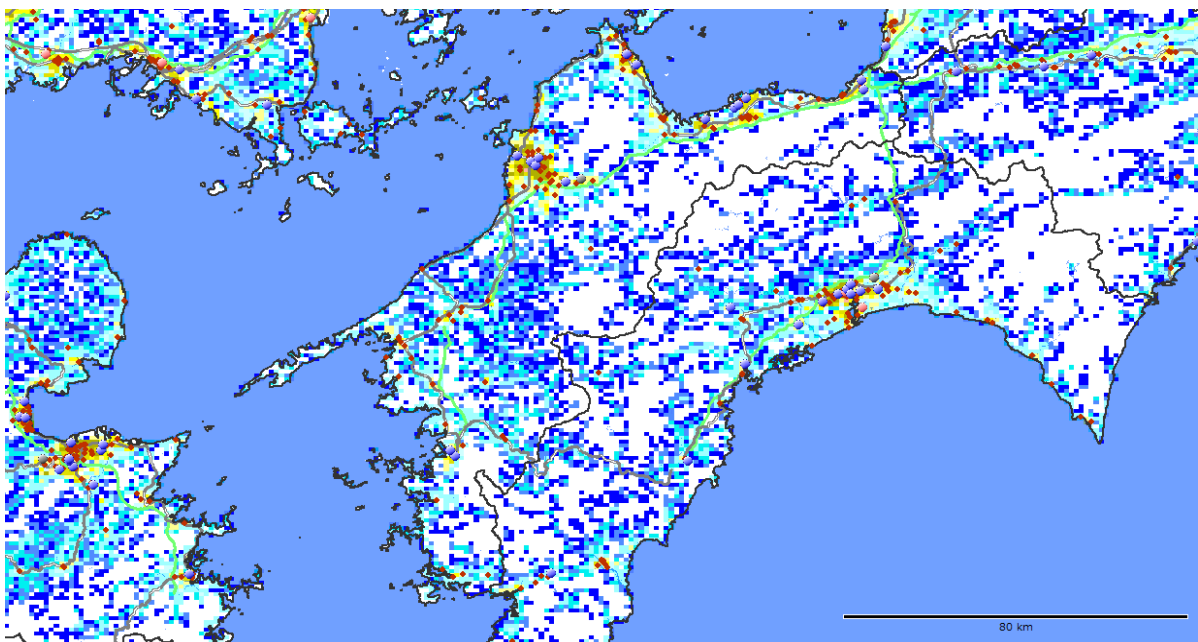


目次

愛媛県	38	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	38	-	8
1. 宇摩医療圏	38	-	20
2. 新居浜・西条医療圏	38	-	25
3. 今治医療圏	38	-	30
4. 松山医療圏	38	-	35
5. 八幡浜・大洲医療圏	38	-	40
6. 宇和島医療圏	38	-	45

38. 愛媛県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(愛媛県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 愛媛県は、総人口約1385千人(2015年)、面積5676km²、人口密度は244人/km²である。

*人口の将来予測： 愛媛県の総人口は2025年に1269千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に1075千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の213千人が、2025年にかけて264千人へと増加し(2015年比+24%)、2040年には255千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 愛媛県の一人当たり医療費(国保)は378千円(偏差値58)、介護給付費は292千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 愛媛県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.45で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が51(病院医師数51、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 愛媛県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、25866人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が13343床(偏差値51)、高齢者住宅等が12523床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、19249人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム50、軽費ホーム56、グループホーム69、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、3474人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

愛媛県の総人口は、2005年1467815人が、2015年に1385262人と6%減少し、2025年の人口が1269451人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

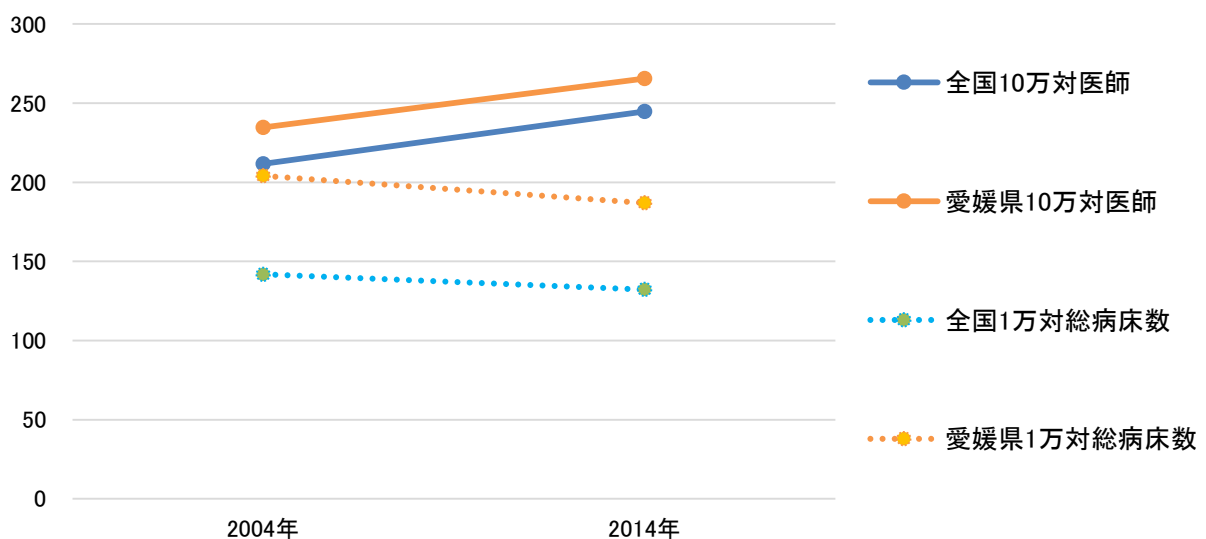
2004年の病院数が155(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に143(人口10万人当たり10.3病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数が1209(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に1247(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、38診療所が増加した。

2004年の総病床数が29963床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に25894床(人口1万人当たり187(全国平均132)偏差値60)と、4069床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

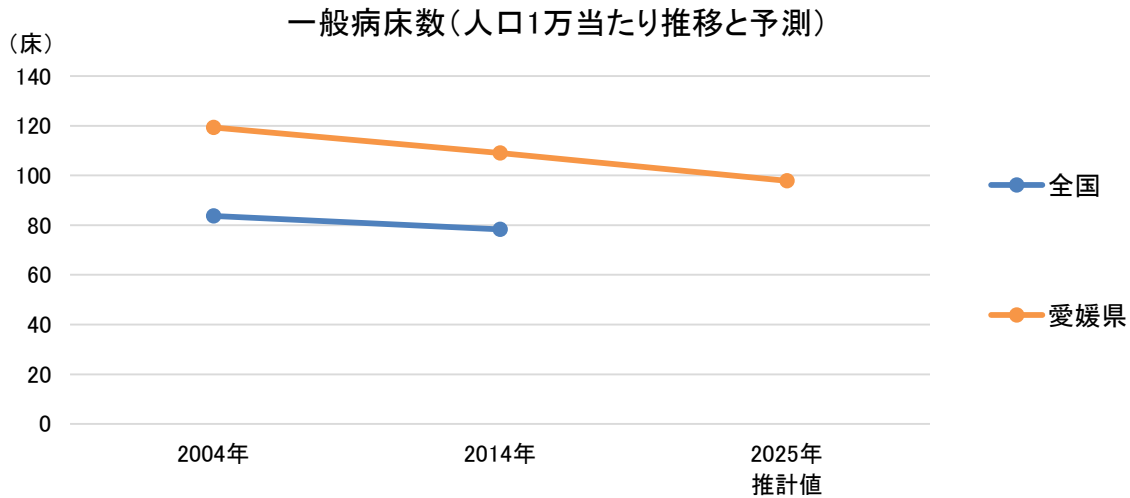
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が3444人(人口10万人当たり235人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に3679人(人口10万人当たり266人(全国平均245人)偏差値52)と、235人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



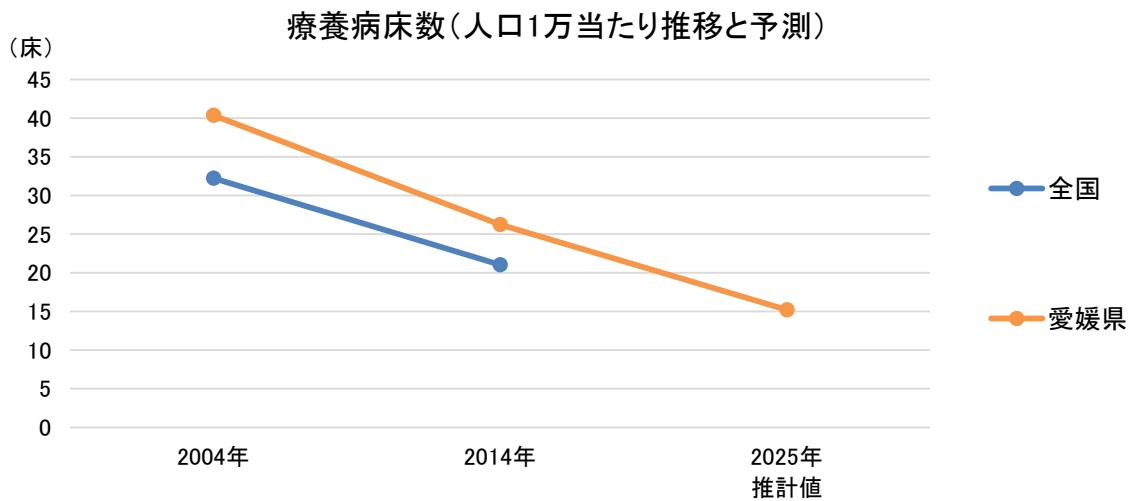
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17519床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に15095床(人口1万人当たり109(全国平均78)偏差値61)と、2424床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には12428床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



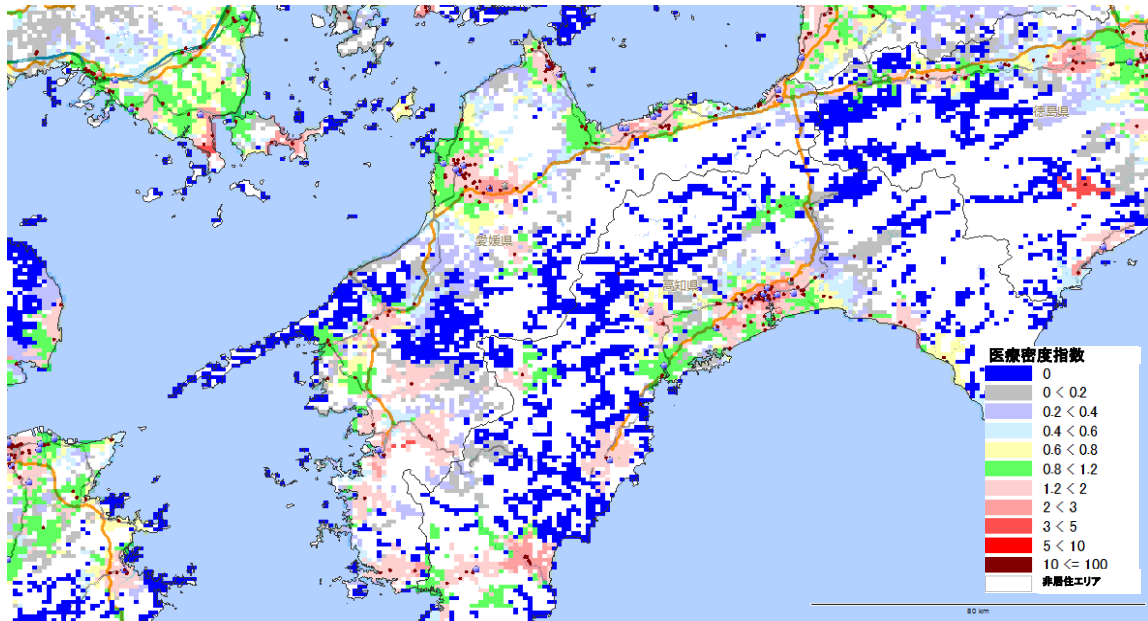
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が7016床(75歳以上1000人当たり40(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に5585床(75歳以上1000人当たり26(全国平均21)偏差値54)と、1431床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4012床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



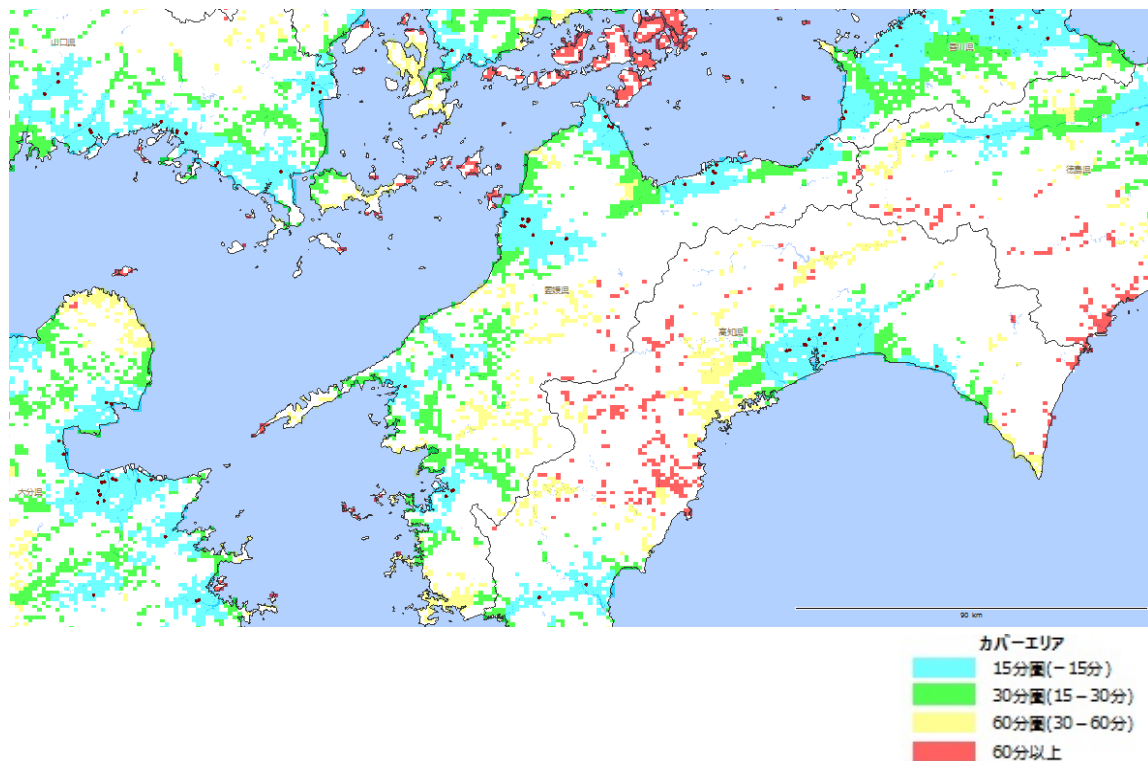
(愛媛県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表38-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



38.愛媛県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 38-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
愛媛県	1,385	28位	5,676	26位	244.1		30%	1,269	1,075	213	264	255	-8%	-15%	24%	-3%
宇摩	87	6%	421	7%	207.5	地方都市型	30%	79	67	13	16	16	-9%	-15%	23%	0%
新居浜・西条	228	16%	744	13%	306.4	地方都市型	30%	212	184	36	44	41	-7%	-13%	22%	-7%
今治	165	12%	450	8%	367.6	地方都市型	34%	147	117	27	34	29	-11%	-20%	26%	-15%
松山	646	47%	1,541	27%	419.3	地方都市型	26%	611	540	83	112	119	-5%	-12%	35%	6%
八幡浜・大洲	144	10%	1,473	26%	98.0	過疎地域型	38%	123	93	31	32	28	-15%	-24%	3%	-13%
宇和島	114	8%	1,047	18%	109.0	過疎地域型	38%	98	73	23	26	22	-14%	-26%	13%	-15%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 38-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
愛媛県	1.25	1.45	21,819	21,459	1.6%
宇摩	1.01	1.43	1,301	1,316	-1.1%
新居浜・西条	1.24	1.95	3,404	3,542	-4.1%
今治	0.86	1.34	2,458	2,783	-13.2%
松山	1.47	1.98	9,547	9,125	4.4%
八幡浜・大洲	0.69	1.10	3,108	2,612	16.0%
宇和島	1.57	1.25	2,001	2,081	-4.0%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 38-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
愛媛県	378	58	1.056	156	59	1.149	199	56	1.012	292	61
宇摩	432	70	1.141	198	73	1.373	211	62	1.012	315	68
新居浜・西条	399	62	1.092	176	65	1.268	200	56	0.996	287	60
今治	377	58	1.045	155	58	1.130	201	57	1.011	270	55
松山	376	57	1.070	150	56	1.120	203	58	1.053	297	63
八幡浜・大洲	378	58	1.031	160	60	1.144	197	55	0.980	284	59
宇和島	329	47	0.919	131	50	0.961	176	43	0.899	307	65
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表38-35を参照。

資_図表 38-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
愛媛県	142	1.7%	10.3	59	1,250	1.2%	90	56
宇摩	9	6%	10.3	59	55	4%	63	41
新居浜・西条	22	15%	9.6	57	190	15%	83	52
今治	30	21%	18.2	78	118	9%	71	46
松山	52	37%	8.0	53	596	48%	92	57
八幡浜・大洲	16	11%	11.1	61	171	14%	118	71
宇和島	13	9%	11.4	61	120	10%	105	64
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 38-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
愛媛県	1,250	1.2%	90	56	1,053	1.1%	76	52	197	2.5%	14.2	63
宇摩	55	4%	63	41	46	4%	53	39	9	5%	10.3	56
新居浜・西条	190	15%	83	52	173	16%	76	51	17	9%	7.5	52
今治	118	9%	71	46	92	9%	56	40	26	13%	15.7	65
松山	596	48%	92	57	486	46%	75	51	110	56%	17.0	67
八幡浜・大洲	171	14%	118	71	157	15%	109	69	14	7%	9.7	55
宇和島	120	10%	105	64	99	9%	87	57	21	11%	18.4	69
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 38-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
愛媛県	22,447	1.4%	1,620	58	3,094	2.9%	223	64	25,541	1.5%	1,844	59
宇摩	1,365	6%	1,562	57	158	5%	181	59	1,523	6%	1,742	58
新居浜・西条	4,293	19%	1,882	63	272	9%	119	53	4,565	18%	2,002	62
今治	2,498	11%	1,512	56	340	11%	206	62	2,838	11%	1,717	57
松山	9,737	43%	1,507	56	1,732	56%	268	68	11,469	45%	1,775	58
八幡浜・大洲	2,417	11%	1,675	59	219	7%	152	57	2,636	10%	1,826	59
宇和島	2,137	10%	1,872	63	373	12%	327	74	2,510	10%	2,199	66
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 38-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
愛媛県	12,219	1.4%	882	58	5,104	1.6%	368	55	5,044	1.5%	364	55
宇摩	554	5%	634	47	445	9%	509	62	362	7%	414	57
新居浜・西条	2,198	18%	964	61	755	15%	331	53	1,315	26%	577	64
今治	1,293	11%	782	53	808	16%	489	61	393	8%	238	49
松山	5,597	46%	866	57	2,145	42%	332	54	1,969	39%	305	52
八幡浜・大洲	1,098	9%	761	53	663	13%	459	60	644	13%	446	58
宇和島	1,479	12%	1,296	76	288	6%	252	50	361	7%	316	52
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 38-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
愛媛県	905	1.2%	65	52	1,135	1.8%	82	54
宇摩	80	9%	92	57	73	6%	84	54
新居浜・西条	74	8%	32	45	286	25%	125	62
今治	72	8%	44	47	109	10%	66	51
松山	502	55%	78	54	397	35%	61	51
八幡浜・大洲	105	12%	73	53	169	15%	117	60
宇和島	72	8%	63	51	101	9%	88	55
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 38-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
愛媛県	8,273	6,893	278	14,207	5,327	4,858	56.4%	52	5.4%	48
宇摩	345	299	0	1,020	274	430	52.2%	50	0.0%	46
新居浜・西条	1,119	931	0	3,027	1,180	755	44.1%	47	0.0%	46
今治	884	491	0	1,665	806	859	37.9%	44	0.0%	46
松山	3,384	3,291	30	6,406	2,366	2,111	58.2%	52	1.4%	47
八幡浜・大洲	760	684	50	1,715	417	613	62.1%	54	7.5%	49
宇和島	1,781	1,197	198	374	284	90	80.8%	62	68.8%	76
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 38-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
愛媛県	27,108	1.0%	1,957	47	12,336	1.2%	891	53
宇摩	1,272	5%	1,455	43	408	3%	467	38
新居浜・西条	3,180	12%	1,394	42	2,196	18%	963	56
今治	2,184	8%	1,322	41	1,536	12%	930	54
松山	17,508	65%	2,710	55	6,216	50%	962	56
八幡浜・大洲	900	3%	624	35	1,008	8%	698	46
宇和島	2,064	8%	1,808	46	972	8%	852	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 38-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
愛媛県	3,916	1.1%	283	51	2,444	1.1%	176	51	1,473	1.1%	106	51
宇摩	188	5%	215	44	122	5%	140	45	66	5%	76	41
新居浜・西条	513	13%	225	45	309	13%	135	45	204	14%	90	46
今治	374	10%	227	45	238	10%	144	46	137	9%	83	44
松山	2,195	56%	340	58	1,427	58%	221	58	767	52%	119	55
八幡浜・大洲	336	9%	233	46	158	6%	109	41	178	12%	124	57
宇和島	310	8%	271	50	191	8%	167	50	119	8%	105	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 38-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
愛媛県	209	1.3%	15.1	54	135	1.1%	9.7	50	126	1.2%	9.1	52
宇摩	5	2%	5.7	40	3	2%	3.4	36	8	6%	9.2	53
新居浜・西条	29	14%	12.7	51	17	13%	7.5	45	17	13%	7.5	48
今治	25	12%	15.1	54	16	12%	9.7	50	11	9%	6.7	46
松山	120	57%	18.6	60	83	61%	12.8	57	78	62%	12.1	60
八幡浜・大洲	18	9%	12.5	50	9	7%	6.2	42	4	3%	2.8	35
宇和島	12	6%	10.5	47	7	5%	6.1	42	8	6%	7.0	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 38-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
愛媛県	55	1.0%	4.0	49	129	1.4%	9.3	56	102	1.4%	7.4	56
宇摩	0	0%	0	30	8	6%	9.2	56	4	4%	4.6	45
新居浜・西条	6	11%	2.6	43	16	12%	7.0	49	17	17%	7.5	56
今治	9	16%	5.4	56	11	9%	6.7	48	6	6%	3.6	41
松山	37	67%	5.7	58	75	58%	11.6	64	63	62%	9.8	65
八幡浜・大洲	2	4%	1.4	37	11	9%	7.6	51	7	7%	4.9	46
宇和島	1	2%	0.9	34	8	6%	7.0	49	5	5%	4.4	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 38-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
愛媛県	105	1.3%	7.6	53	244	1.2%	17.6	52	202	1.3%	14.6	56
宇摩	6	6%	6.9	51	7	3%	8.0	38	10	5%	11.4	49
新居浜・西条	11	10%	4.8	45	32	13%	14.0	47	30	15%	13.2	52
今治	11	10%	6.7	50	22	9%	13.3	46	18	9%	10.9	47
松山	59	56%	9.1	57	158	65%	24.5	62	112	55%	17.3	62
八幡浜・大洲	10	10%	6.9	51	12	5%	8.3	39	13	6%	9.0	43
宇和島	8	8%	7.0	51	13	5%	11.4	43	19	9%	16.6	60
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 38-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
愛媛県	81	1.4%	5.8	57	90	1.4%	6.5	56	90	1.7%	6.5	58
宇摩	4	5%	4.6	50	1	1%	1.1	33	4	4%	4.6	51
新居浜・西条	9	11%	3.9	47	12	13%	5.3	51	12	13%	5.3	54
今治	6	7%	3.6	46	10	11%	6.1	54	14	16%	8.5	65
松山	49	60%	7.6	65	57	63%	8.8	66	55	61%	8.5	65
八幡浜・大洲	8	10%	5.5	55	7	8%	4.9	49	1	1%	0.7	38
宇和島	5	6%	4.4	49	3	3%	2.6	40	4	4%	3.5	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 38-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
愛媛県	81	1.2%	5.8	52	20	1.3%	1.4	53	22	0.7%	1.6	44
宇摩	2	2%	2.3	40	0	0%	0	37	0	0%	0	35
新居浜・西条	9	11%	3.9	46	4	20%	1.8	56	0	0%	0	35
今治	5	6%	3.0	43	1	5%	0.6	43	0	0%	0	35
松山	61	75%	9.4	64	13	65%	2.0	59	19	86%	2.9	52
八幡浜・大洲	2	2%	1.4	37	0	0%	0	37	1	5%	0.7	39
宇和島	2	2%	1.8	39	2	10%	1.8	56	2	9%	1.8	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 38-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
愛媛県	27	1.4%	1.9	53	30	1.3%	2.2	52
宇摩	1	4%	1.1	46	1	3%	1.1	44
新居浜・西条	4	15%	1.8	52	4	13%	1.8	49
今治	2	7%	1.2	47	2	7%	1.2	45
松山	18	67%	2.8	60	13	43%	2.0	51
八幡浜・大洲	0	0%	0	37	3	10%	2.1	52
宇和島	2	7%	1.8	52	7	23%	6.1	83
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 38-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
愛媛県	16,278	1.5%	1,175	60	12,581	1.4%	908	58	3,696	1.9%	267	65
宇摩	783	5%	896	51	639	5%	731	50	145	4%	165	51
新居浜・西条	2,549	16%	1,118	58	2,107	17%	924	58	442	12%	194	55
今治	1,849	11%	1,119	58	1,466	12%	887	57	383	10%	232	60
松山	8,026	49%	1,242	63	6,100	48%	944	59	1,927	52%	298	70
八幡浜・大洲	1,610	10%	1,116	58	1,153	9%	799	53	457	12%	317	72
宇和島	1,460	9%	1,279	64	1,117	9%	979	61	343	9%	301	70
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 38-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
愛媛県	1,828	1.4%	132	56	2,752	1.0%	199	47
宇摩	125	7%	143	58	140	5%	160	43
新居浜・西条	241	13%	106	51	414	15%	182	45
今治	205	11%	124	55	282	10%	171	44
松山	927	51%	143	58	1,481	54%	229	50
八幡浜・大洲	199	11%	138	57	239	9%	166	43
宇和島	131	7%	115	53	196	7%	172	44
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 38-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
愛媛県	157	1.2%	0.7	48	19	1.6%	0.1	52	162	1.6%	0.8	56
宇摩	3	2%	0.2	36	0	0%	0	38	8	5%	0.6	48
新居浜・西条	16	10%	0.5	41	2	11%	0.1	47	18	11%	0.5	43
今治	13	8%	0.5	42	4	21%	0.1	61	12	7%	0.4	40
松山	90	57%	1.1	56	11	58%	0.1	59	89	55%	1.1	71
八幡浜・大洲	27	17%	0.9	51	2	11%	0.1	48	12	7%	0.4	37
宇和島	8	5%	0.3	39	0	0%	0	38	23	14%	1.0	67
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 38-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
愛媛県	25,866	1.5%	121	60	13,343	1.3%	63	51	12,523	1.8%	59	60
宇摩	1,634	6%	122	61	1,010	8%	75	61	624	5%	46	53
新居浜・西条	3,839	15%	108	53	2,327	17%	66	53	1,512	12%	43	50
今治	2,654	10%	97	46	1,788	13%	65	53	866	7%	32	43
松山	12,075	47%	146	75	4,691	35%	57	46	7,384	59%	89	80
八幡浜・大洲	3,335	13%	109	53	2,044	15%	67	54	1,291	10%	42	50
宇和島	2,329	9%	101	48	1,483	11%	64	52	846	7%	37	46
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 38-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
愛媛県	5,325	1.5%	25	54	7,098	1.3%	33	48	920	1.4%	4.3	51
宇摩	427	8%	32	66	478	7%	36	51	105	11%	7.8	59
新居浜・西条	789	15%	22	49	1,481	21%	42	57	57	6%	1.6	44
今治	823	15%	30	63	778	11%	28	43	187	20%	6.8	57
松山	1,868	35%	23	50	2,376	33%	29	44	447	49%	5.4	53
八幡浜・大洲	903	17%	29	62	1,077	15%	35	50	64	7%	2.1	45
宇和島	515	10%	22	49	908	13%	39	54	60	7%	2.6	47
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 38-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
愛媛県	2,936	1.3%	13.8	50	594	2.6%	2.8	56	4,913	2.5%	23.1	69
宇摩	0	0%	0	37	110	19%	8.2	82	181	4%	13.5	52
新居浜・西条	221	8%	6.2	43	30	5%	0.8	47	826	17%	23.3	69
今治	116	4%	4.2	41	104	18%	3.8	61	450	9%	16.4	57
松山	2,180	74%	26.4	61	290	49%	3.5	60	2,353	48%	28.5	78
八幡浜・大洲	261	9%	8.5	45	60	10%	2.0	52	743	15%	24.2	71
宇和島	158	5%	6.8	43	0	0%	0	43	360	7%	15.6	56
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 38-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
愛媛県	4,080	1.8%	19.2	57	33	0.2%	0.2	45	4,047	1.9%	19.0	58
宇摩	333	8%	24.8	64	0	0%	0	44	333	8%	24.8	67
新居浜・西条	435	11%	12.3	47	0	0%	0	44	435	11%	12.3	48
今治	196	5%	7.1	40	0	0%	0	44	196	5%	7.1	41
松山	2,561	63%	31.0	73	33	100%	0.4	47	2,528	62%	30.6	75
八幡浜・大洲	227	6%	7.4	40	0	0%	0	44	227	6%	7.4	41
宇和島	328	8%	14.2	50	0	0%	0	44	328	8%	14.2	51
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 38-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
愛媛県	2,547	1.5%	12.0	57	1,903	1.6%	8.9	58	644	1.4%	3.0	52
宇摩	164	6%	12.2	58	134	7%	10.0	62	31	5%	2.3	44
新居浜・西条	331	13%	9.3	46	259	14%	7.3	50	72	11%	2.0	41
今治	302	12%	11.0	53	255	13%	9.3	59	47	7%	1.7	38
松山	1,205	47%	14.6	68	856	45%	10.3	64	349	54%	4.2	64
八幡浜・大洲	299	12%	9.8	48	244	13%	8.0	53	55	9%	1.8	39
宇和島	246	10%	10.6	52	155	8%	6.7	47	91	14%	3.9	61
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 38-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
愛媛県	22,723	1.6%	107	63	19,249	1.6%	90	62	3,474	1.5%	16.3	54
宇摩	1,595	7%	119	73	1,426	7%	106	76	170	5%	12.6	48
新居浜・西条	3,781	17%	106	63	3,269	17%	92	64	511	15%	14.4	51
今治	2,560	11%	93	52	2,225	12%	81	54	336	10%	12.2	47
松山	9,541	42%	115	70	7,827	41%	95	66	1,714	49%	20.7	62
八幡浜・大洲	2,892	13%	94	53	2,646	14%	86	58	246	7%	8.0	40
宇和島	2,354	10%	102	59	1,857	10%	80	53	497	14%	21.5	63
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 38-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
愛媛県	17,456	1.6%	82	55	5,783	1.3%	27	49	23,402	1.6%	110	56
宇摩	384	2%	29	38	258	4%	19	43	1,421	6%	106	54
新居浜・西条	2,048	12%	58	47	582	10%	16	40	3,768	16%	106	54
今治	615	4%	22	36	344	6%	13	37	2,623	11%	95	51
松山	11,290	65%	137	72	3,418	59%	41	61	10,744	46%	130	62
八幡浜・大洲	2,074	12%	68	50	500	9%	16	40	1,786	8%	58	40
宇和島	1,045	6%	45	43	681	12%	29	51	3,060	13%	132	63
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 38-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
愛媛県		1,467,815	1,385,262	-6%	1,269,451	-14%	4%	2%	6%
宇摩	地方都市型	92,854	87,413	-6%	79,432	-14%	5%	1%	5%
新居浜・西条	地方都市型	237,323	228,077	-4%	211,721	-11%	6%	1%	7%
今治	地方都市型	182,081	165,249	-9%	146,927	-19%	3%	-2%	0%
松山	地方都市型	653,642	646,055	-1%	610,640	-7%	8%	8%	17%
八幡浜・大洲	過疎地域型	168,713	144,324	-14%	123,084	-27%	-5%	-7%	-11%
宇和島	過疎地域型	133,202	114,144	-14%	97,647	-27%	-3%	-5%	-8%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 38-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
愛媛県	155	10.6	59	143	10.3	59	-12	-8%	131
宇摩	9	9.7	57	9	10.3	59	0	0%	9
新居浜・西条	22	9.3	56	22	9.6	57	0	0%	22
今治	33	18.1	79	30	18.2	78	-3	-9%	27
松山	58	8.9	55	53	8.2	54	-5	-9%	48
八幡浜・大洲	19	11.3	61	16	11.1	61	-3	-16%	13
宇和島	14	10.5	59	13	11.4	61	-1	-7%	12
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 38-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
愛媛県	1,209	82	53	1,247	90	56	38	3%	1,289
宇摩	57	61	43	56	64	42	-1	-2%	55
新居浜・西条	189	80	52	188	82	52	-1	-1%	187
今治	120	66	45	121	73	47	1	1%	122
松山	531	81	53	590	91	57	59	11%	655
八幡浜・大洲	176	104	64	172	119	71	-4	-2%	168
宇和島	136	102	63	120	105	64	-16	-12%	102
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 38-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
愛媛県	3,444	235	53	3,679	266	52	235	7%	3,938
宇摩	166	179	46	163	186	44	-3	-2%	160
新居浜・西条	517	218	51	464	203	46	-53	-10%	406
今治	321	176	46	323	195	45	2	1%	325
松山	1,838	281	58	2,199	340	60	361	20%	2,596
八幡浜・大洲	316	187	47	268	186	44	-48	-15%	215
宇和島	286	215	50	262	230	48	-24	-8%	236
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 38-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
愛媛県	29,963	204	61	25,894	187	60	-4,069	-14%	21,418
宇摩	1,740	187	58	1,523	174	57	-217	-12%	1,284
新居浜・西条	5,250	221	64	4,584	201	62	-666	-13%	3,851
今治	3,231	177	56	2,850	172	57	-381	-12%	2,431
松山	13,213	202	61	11,619	180	58	-1,594	-12%	9,866
八幡浜・大洲	3,292	195	60	2,719	188	60	-573	-17%	2,089
宇和島	3,237	243	68	2,599	228	67	-638	-20%	1,897
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 38-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
愛媛県	17,519	119	63	15,095	109	61	-2,424	-14%	12,428	98
宇摩	959	103	57	700	80	51	-259	-27%	415	52
新居浜・西条	2,807	118	62	2,461	108	61	-346	-12%	2,080	98
今治	1,900	104	57	1,644	99	58	-256	-13%	1,362	93
松山	8,058	123	64	7,227	112	62	-831	-10%	6,313	103
八幡浜・大洲	1,663	99	55	1,313	91	55	-350	-21%	928	75
宇和島	2,132	160	77	1,750	153	78	-382	-18%	1,330	136
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 38-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
愛媛県	7,016	40	55	5,585	26	54	-1,431	-20%	4,012	15
宇摩	399	37	53	457	34	61	58	15%	521	32
新居浜・西条	1,055	36	52	783	22	51	-272	-26%	484	11
今治	934	40	54	809	29	57	-125	-13%	672	20
松山	3,098	50	60	2,397	29	57	-701	-23%	1,626	15
八幡浜・大洲	914	33	50	691	23	51	-223	-24%	446	14
宇和島	616	30	49	448	19	49	-168	-27%	263	10
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

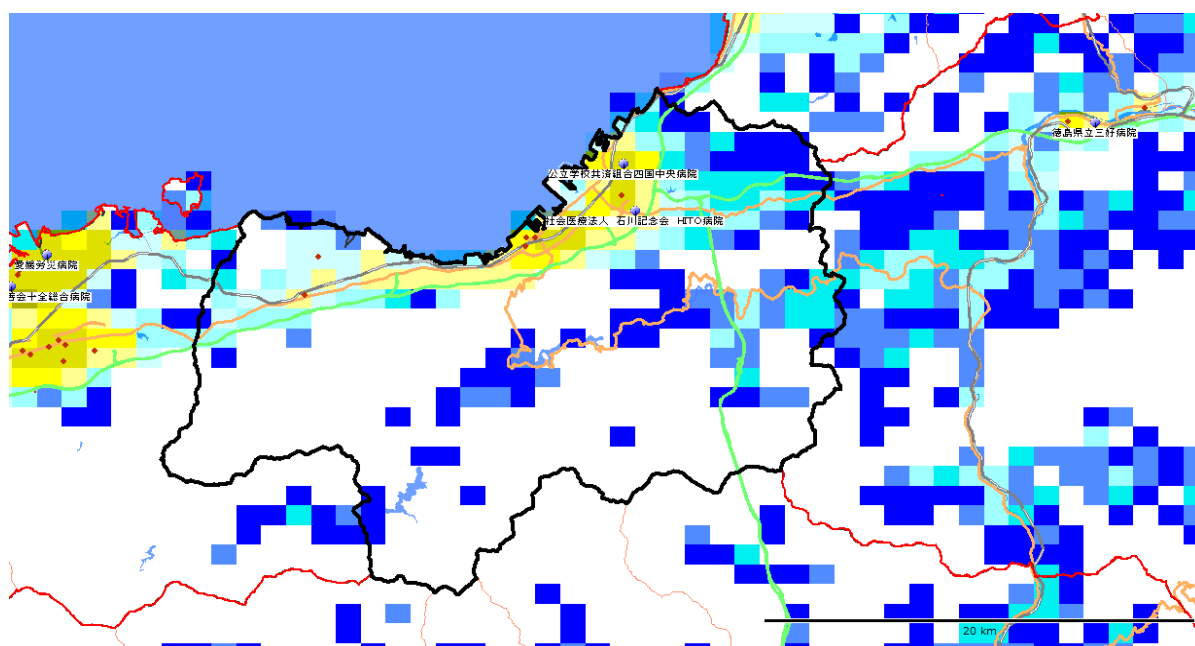
資_図表 38-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)		地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
				入院費	偏差値 *全国は 標準偏差		入院外+ 調剤	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000	
愛媛県	945	51	1.001	480	52	1.023	438	49	0.991	
宇摩	952	51	1.023	519	56	1.116	407	42	0.938	
新居浜・西条	947	51	0.998	497	54	1.052	422	45	0.952	
今治	965	53	1.009	507	55	1.064	429	47	0.958	
松山	988	54	1.048	481	52	1.028	478	59	1.080	
八幡浜・大洲	917	49	0.971	477	52	1.006	418	45	0.954	
宇和島	797	39	0.842	403	44	0.852	373	34	0.845	
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省									

38-1. うま宇摩医療圏

構成市区町村⁹ [四国中央市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(宇摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宇摩(四国中央市)は、総人口約87千人(2015年)、面積421km²、人口密度は208人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宇摩の総人口は2025年に79千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に67千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には16千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宇摩の一人当たり医療費(国保)は432千円(偏差値70)、介護給付費は315千円(偏差値68)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宇摩の一人当たり急性期医療密度指数²は1.01、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.43で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数45、診療所医師数41)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。宇摩には、年間全身麻酔件数が500例以上の四国中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宇摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1634人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1010床(偏差値61)、高齢者住宅等が624床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1426人(75歳以上1000人当たりの偏差値76)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設59、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム82、グループホーム52、サ高住64である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、170人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(宇摩医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宇摩医療圏の総人口は、2005年92854人が、2015年に87413人と6%減少し、2025年の人口が79432人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

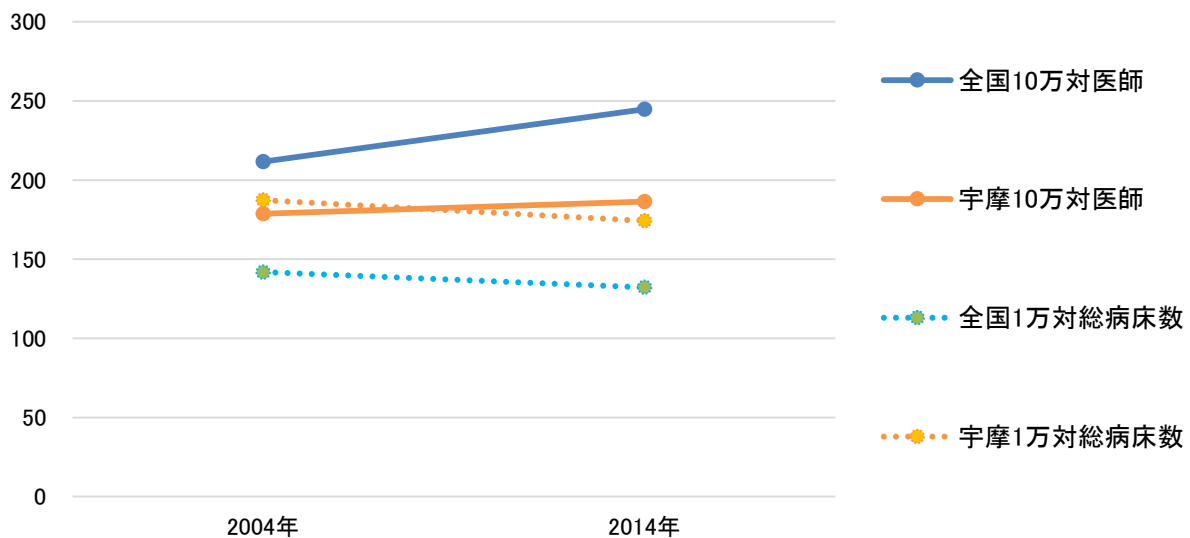
2004年の病院数が9(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に9(人口10万人当たり10.3病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が57(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に56(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が1740床(人口1万人当たり187(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に1523床(人口1万人当たり174(全国平均132)偏差値57)と、217床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

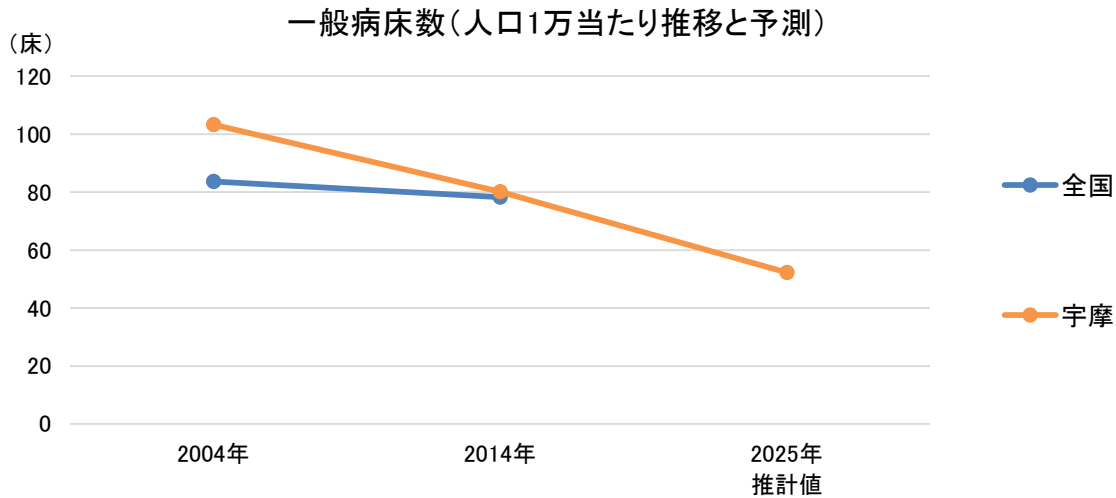
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が166人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に163人(人口10万人当たり186人(全国平均245人)偏差値44)と、3人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



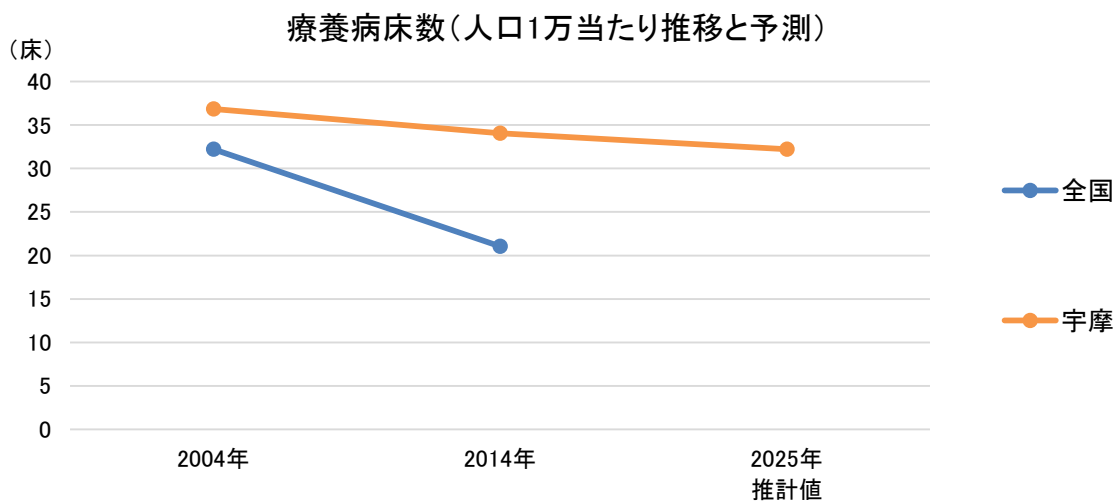
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が959床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に700床(人口1万人当たり80(全国平均78)偏差値51)と、259床の減少、率にして27%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には415床(2025年の推計人口1万人当たり52)になることが予想される。



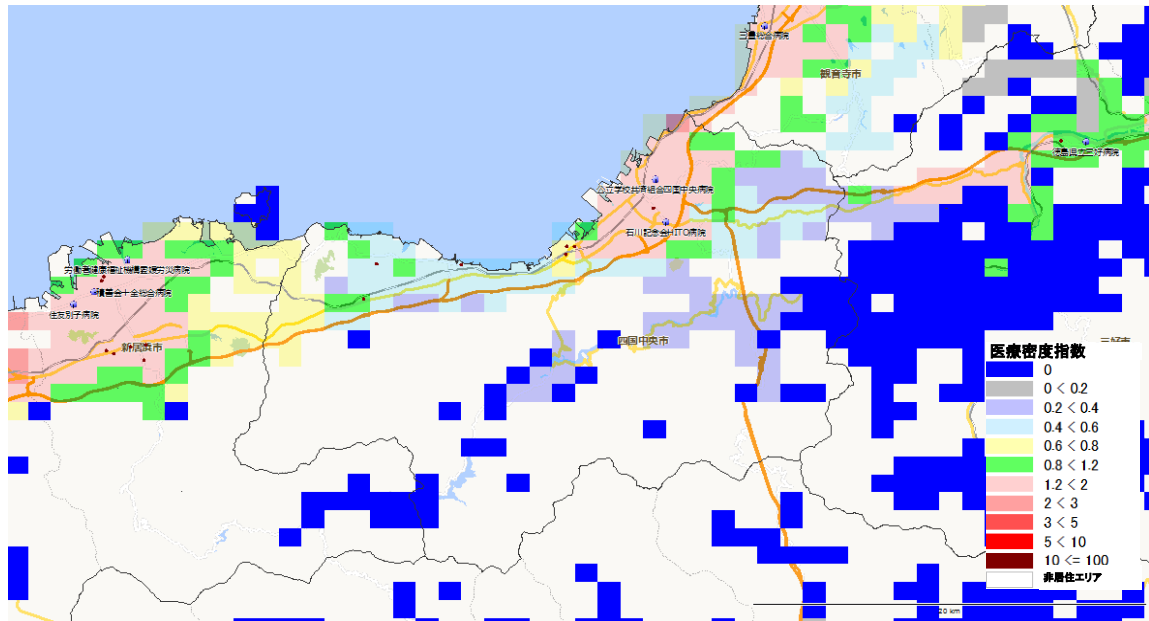
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が399床(75歳以上1000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に457床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、58床の増加、率にして15%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には521床(2025年の推計75歳以上1000人当たり32)になることが予想される。



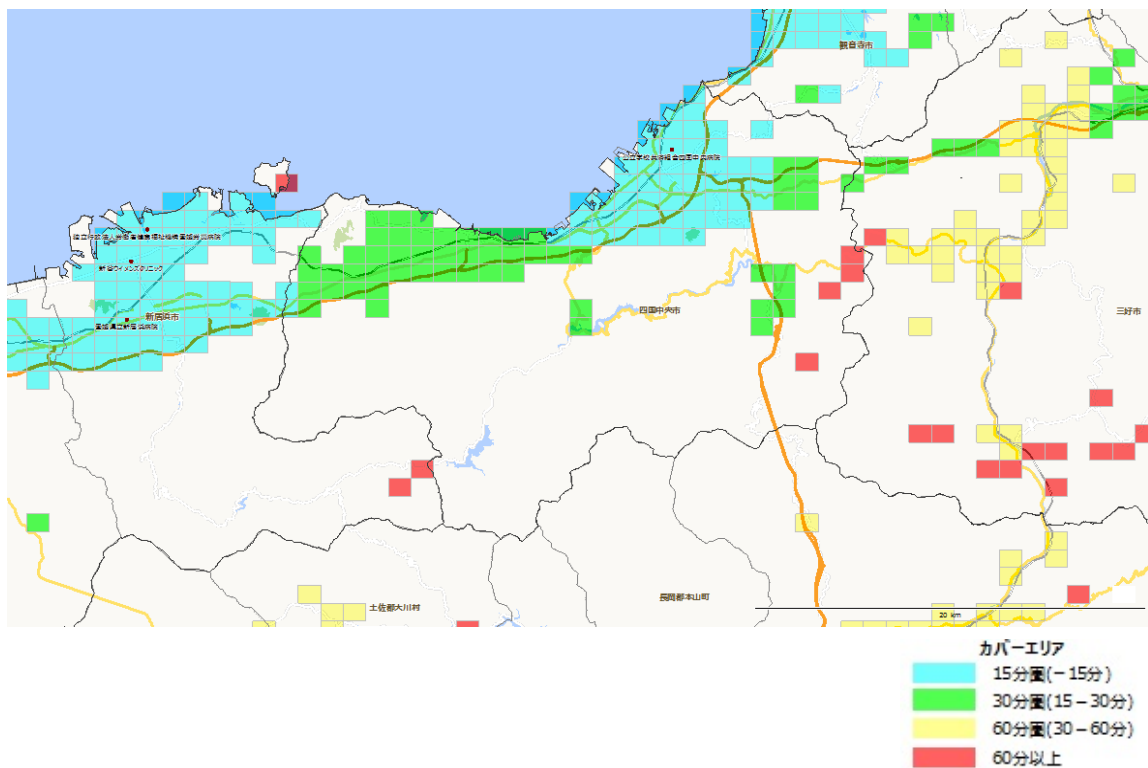
(宇摩医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表38-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

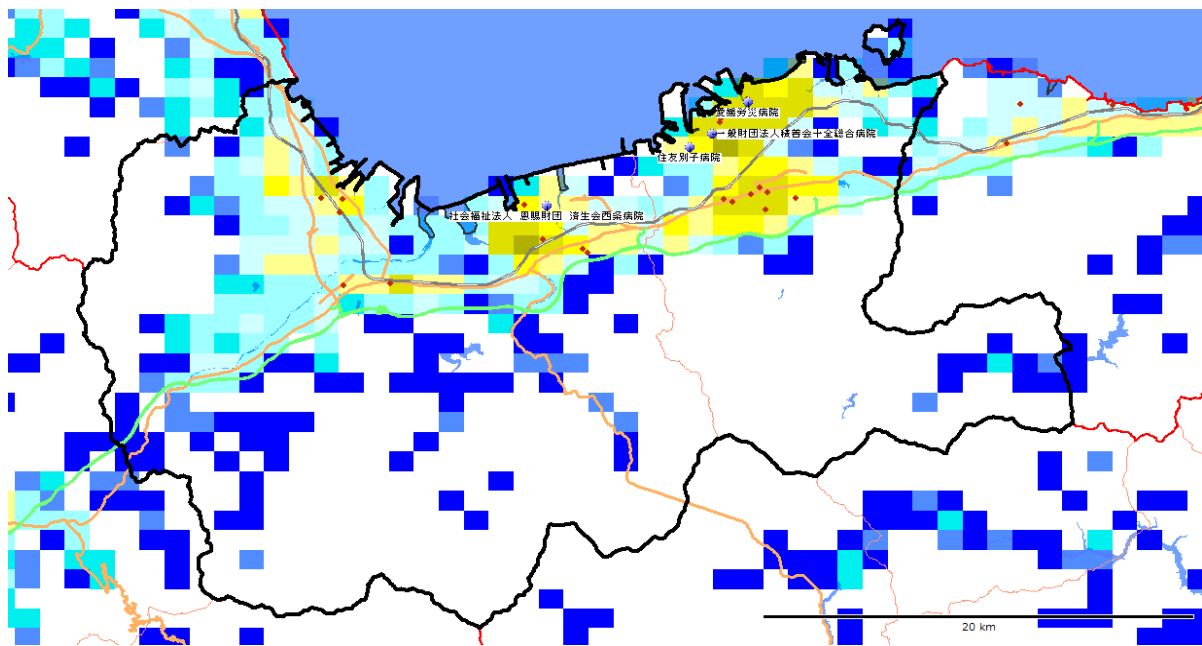
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



38-2. にい は ま さいじょう 新居浜・西条医療圏

構成市区町村⁹ [新居浜市](#) [西条市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(新居浜・西条医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 新居浜・西条(新居浜市)は、総人口約228千人(2015年)、面積744km²、人口密度は306人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 新居浜・西条の総人口は2025年に212千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に184千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の36千人が、2025年にかけて44千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には41千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 新居浜・西条の一人当たり医療費(国保)は399千円(偏差値62)、介護給付費は287千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 新居浜・西条の一人当たり急性期医療密度指数²は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.95で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。新居浜・西条には、年間全身麻酔件数が500例以上の愛媛労災病院(Ⅲ群)、住友別子病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は64で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 新居浜・西条の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3839人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2327床(偏差値53)、高齢者住宅等が1512床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3269人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム43、軽費ホーム47、グループホーム69、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、511人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(新居浜・西条医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

新居浜・西条医療圏の総人口は、2005年237323人が、2015年に228077人と4%減少し、2025年の人口が211721人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

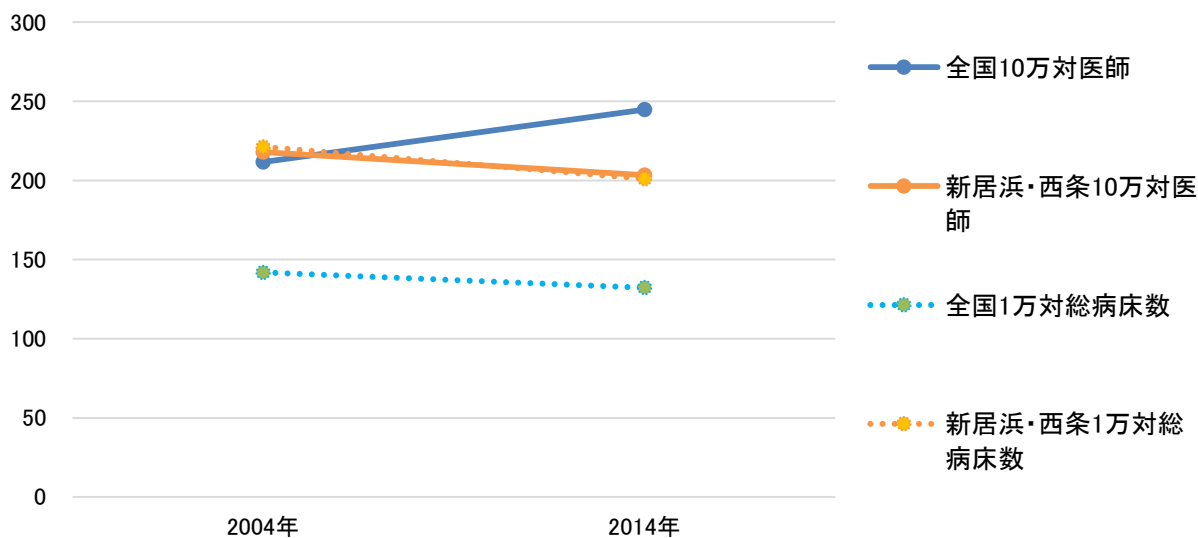
2004年の病院数が22(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に22(人口10万人当たり9.6病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が189(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に188(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値52)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が5250床(人口1万人当たり221(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に4584床(人口1万人当たり201(全国平均132)偏差値62)と、666床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

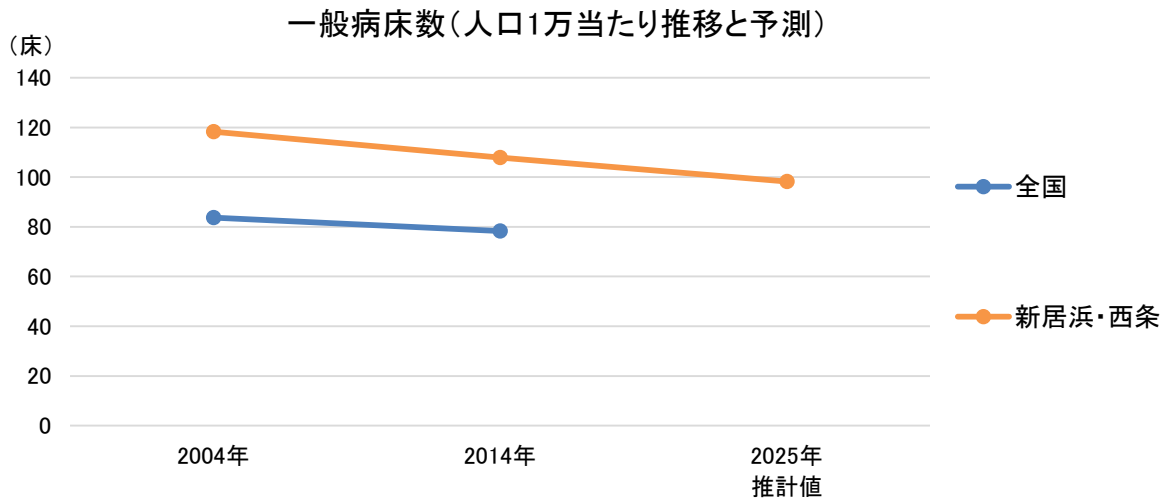
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が517人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に464人(人口10万人当たり203人(全国平均245人)偏差値46)と、53人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



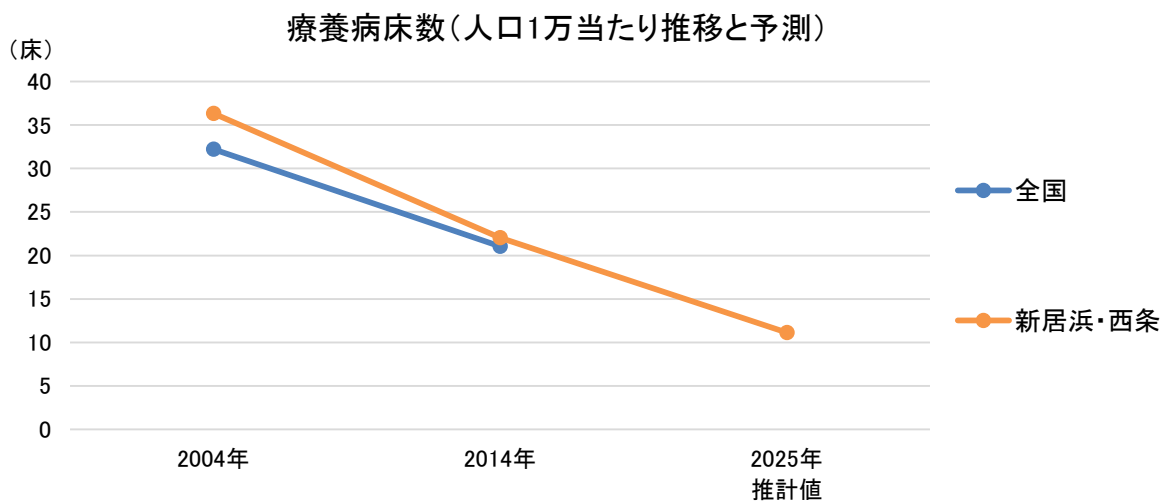
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2807床(人口1万人当たり118(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に2461床(人口1万人当たり108(全国平均78)偏差値61)と、346床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2080床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



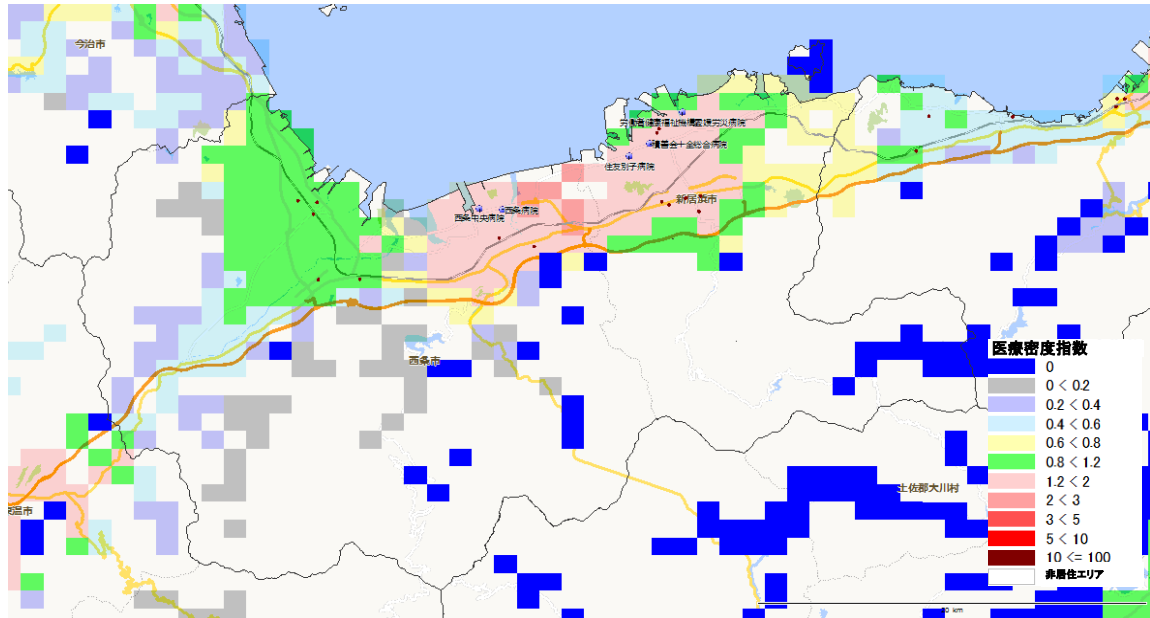
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1055床(75歳以上1000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に783床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、272床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には484床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



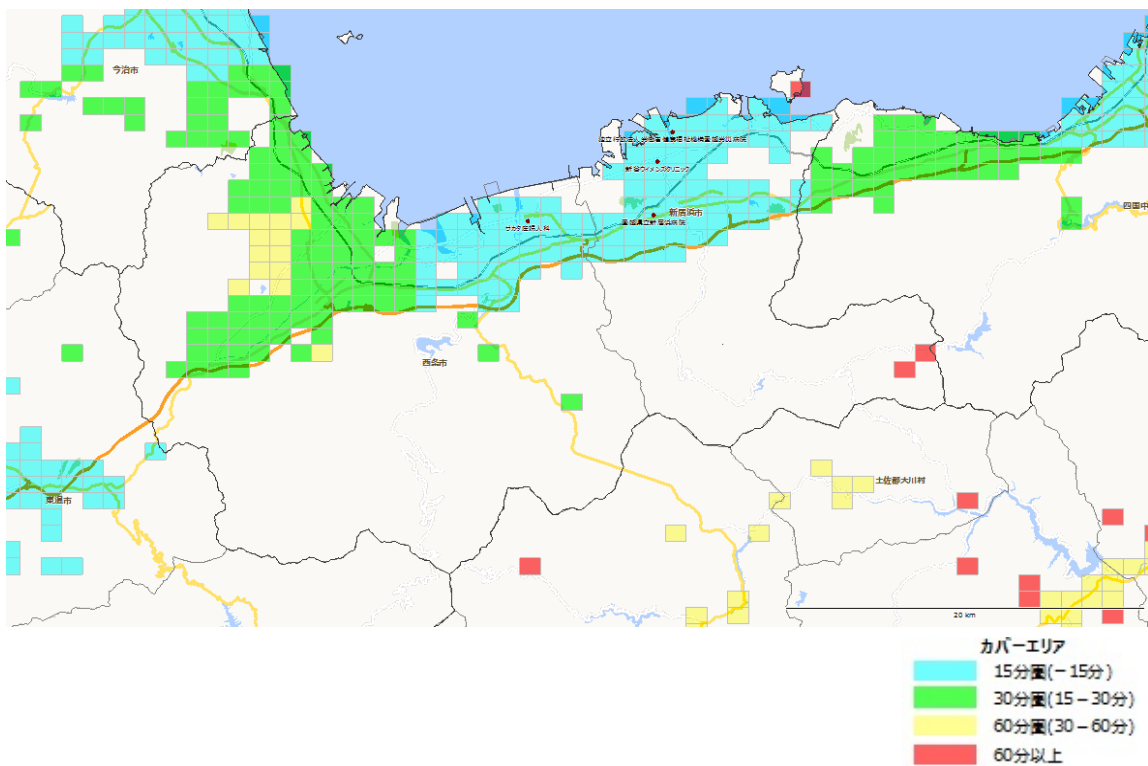
(新居浜・西条医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表38-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

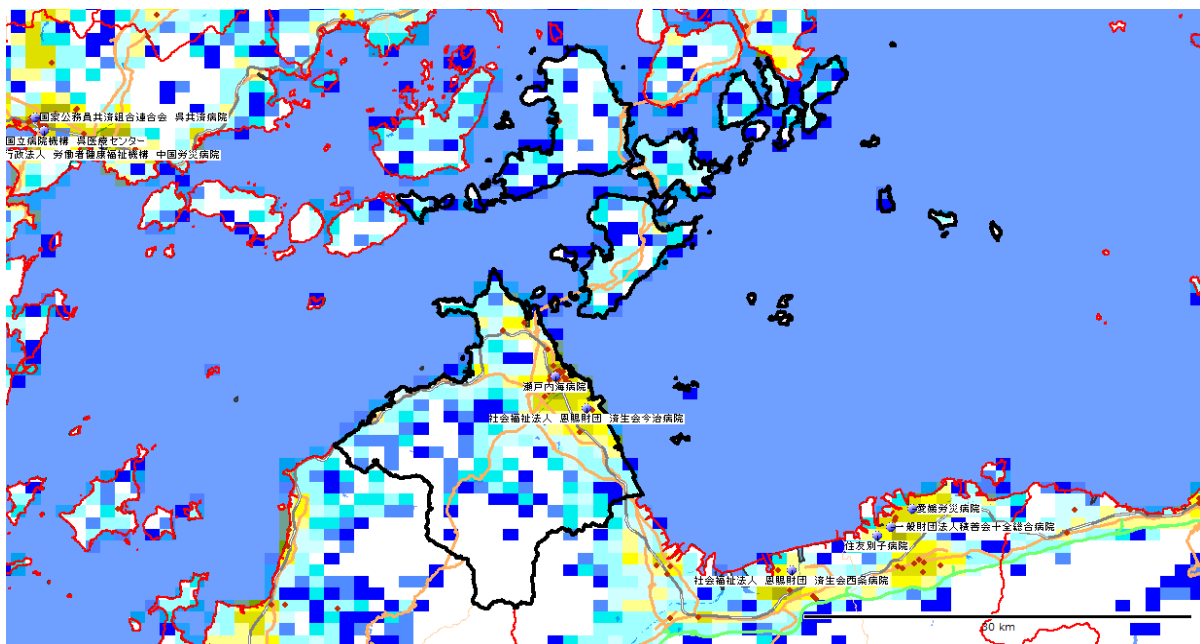


38-3. いまばり 今治医療圏

構成市区町村⁹ [今治市](#)

[上島町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(今治医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 今治(今治市)は、総人口約165千人(2015年)、面積450km²、人口密度は368人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 今治の総人口は2025年に147千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に117千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて34千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には29千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 今治の一人当たり医療費(国保)は377千円(偏差値58)、介護給付費は270千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 今治の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.34で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数46、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。今治には、年間全身麻酔件数が500例以上の愛媛県立今治病院(Ⅲ群)、済生会今治病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 今治の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2654人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1788床(偏差値53)、高齢者住宅等が866床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2225人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム41、軽費ホーム61、グループホーム57、サ高住40である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、336人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(今治医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

今治医療圏の総人口は、2005年182081人が、2015年に165249人と9%減少し、2025年の人口が146927人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

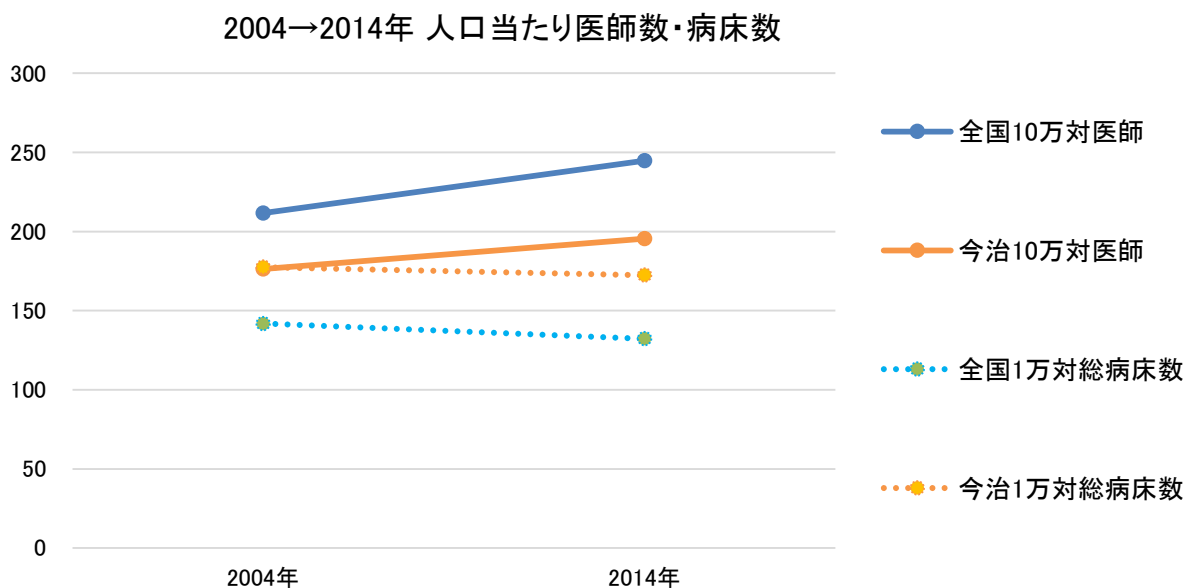
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が33(人口10万人当たり18.1病院(全国平均7.1)偏差値79)であったが、2014年に30(人口10万人当たり18.2病院(全国平均6.7)偏差値78)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が120(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に121(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、1診療所が増加した。

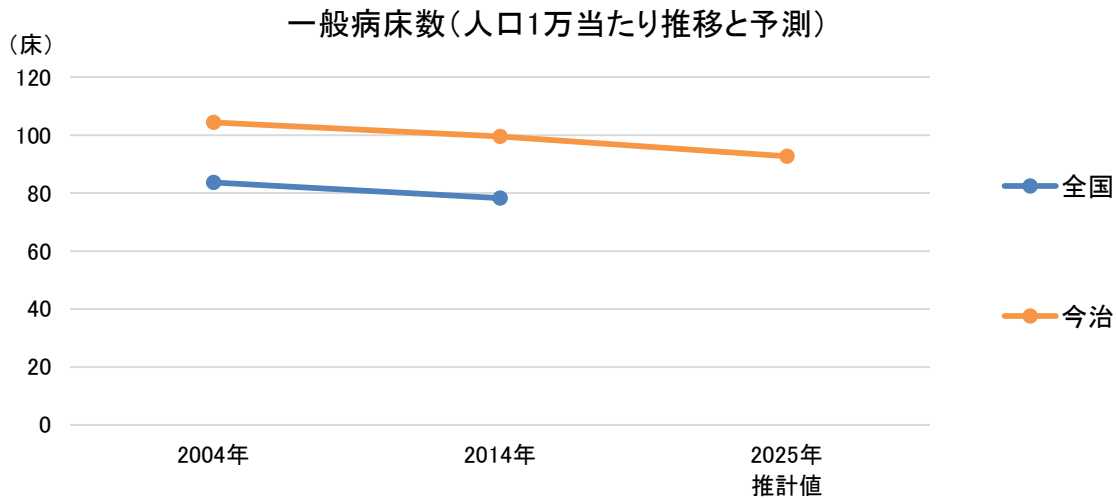
2004年の総病床数が3231床(人口1万人当たり177(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に2850床(人口1万人当たり172(全国平均132)偏差値57)と、381床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が321人(人口10万人当たり176人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に323人(人口10万人当たり195人(全国平均245人)偏差値45)と、2人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



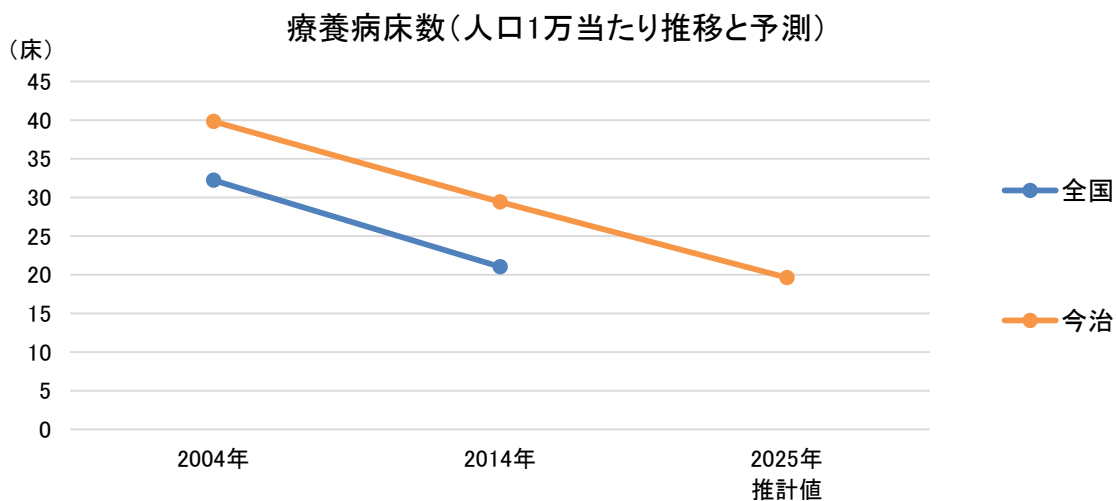
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1900床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1644床(人口1万人当たり99(全国平均78)偏差値58)と、256床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1362床(2025年の推計人口1万人当たり93)になることが予想される。



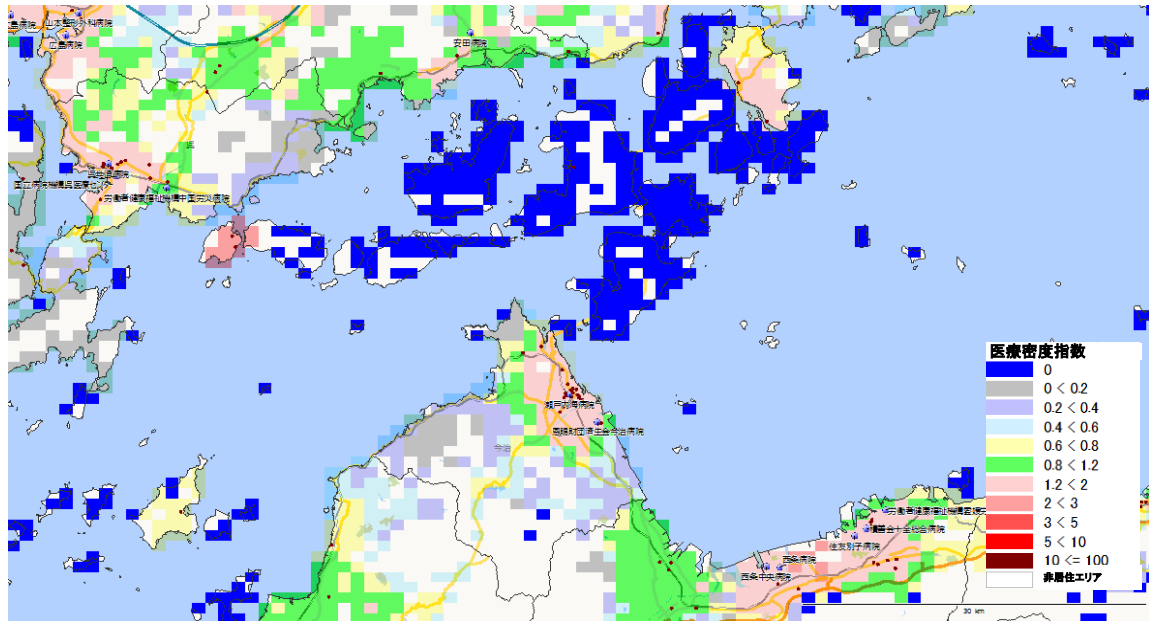
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が934床(75歳以上1000人当たり40(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に809床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値57)と、125床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には672床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



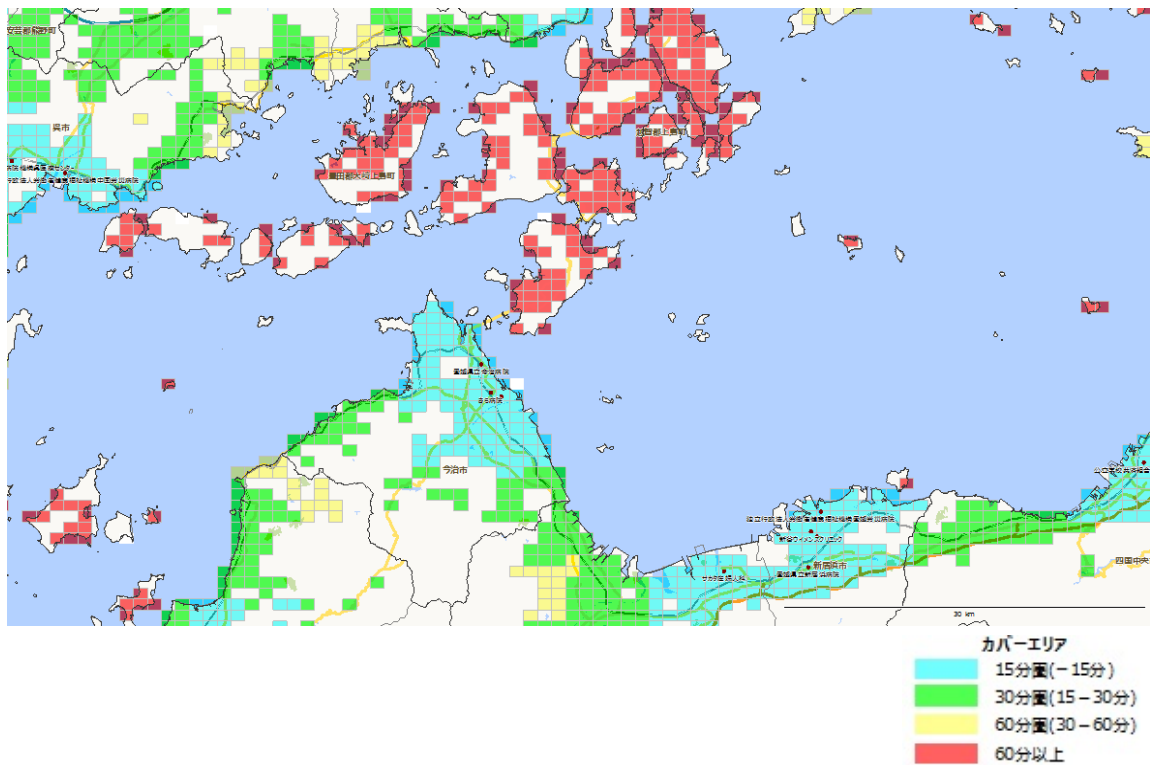
(今治医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表38-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



38-4. まつやま 松山医療圏

構成市区町村⁹

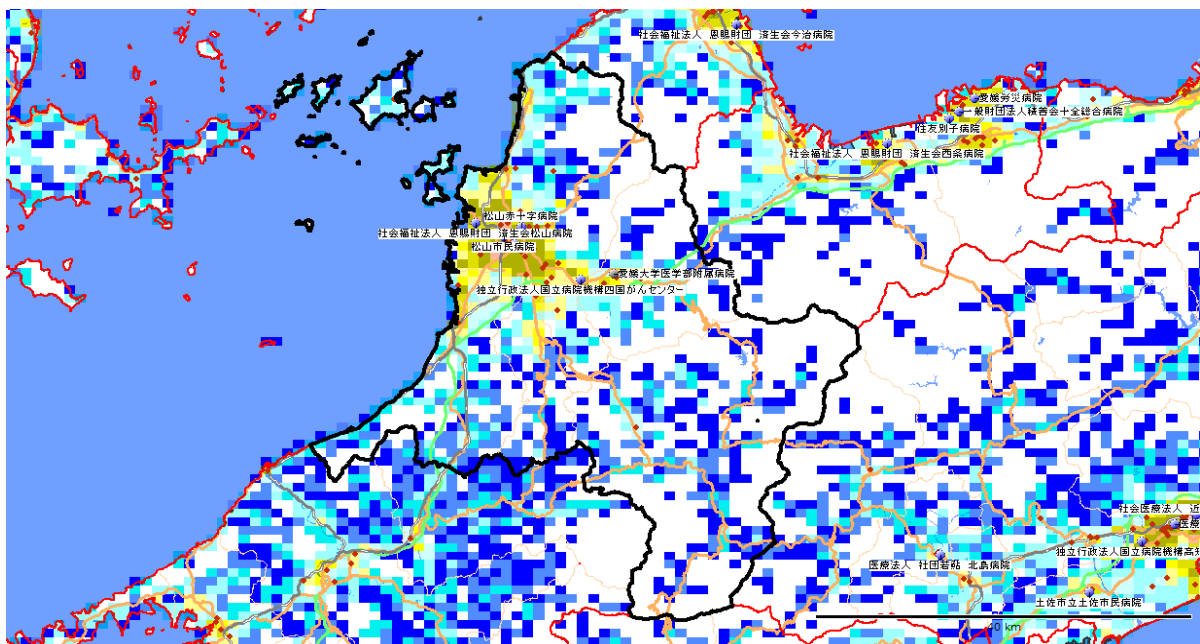
松山市
松前町

伊予市
砥部町

東温市

久万高原町

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(松山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 松山(松山市)は、総人口約646千人(2015年)、面積1541km²、人口密度は419人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 松山の総人口は2025年に611千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に540千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の83千人が、2025年にかけて112千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には119千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 松山の一人当たり医療費(国保)は376千円(偏差値57)、介護給付費は297千円(偏差値63)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 松山の一人当たり急性期医療密度指数²は1.47、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.98で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が58(病院医師数58、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。松山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の愛媛県立中央病院(Ⅱ群・救命)、松山赤十字病院(Ⅲ群)、愛媛大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の国立病院機構四国がんセンター(Ⅲ群)、500例以上の松山市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 松山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12075人(75歳以上1000人当たりの偏差値75)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4691床(偏差値46)、高齢者住宅等が7384床(偏差値80)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7827人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム61、軽費ホーム60、グループホーム78、サ高住73である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値71と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、1714人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(松山医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

松山医療圏の総人口は、2005年653642人が、2015年に646055人と1%減少し、2025年の人口が610640人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

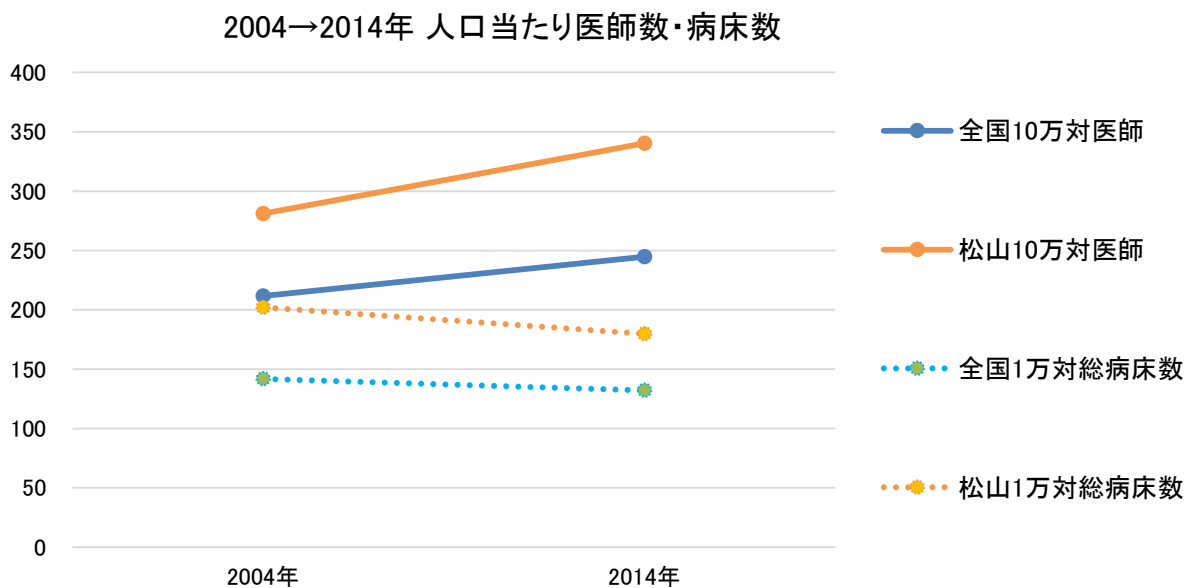
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が58(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に53(人口10万人当たり8.2病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が531(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に590(人口10万人当たり91診療所(全国平均79)偏差値57)と、59診療所が増加した。

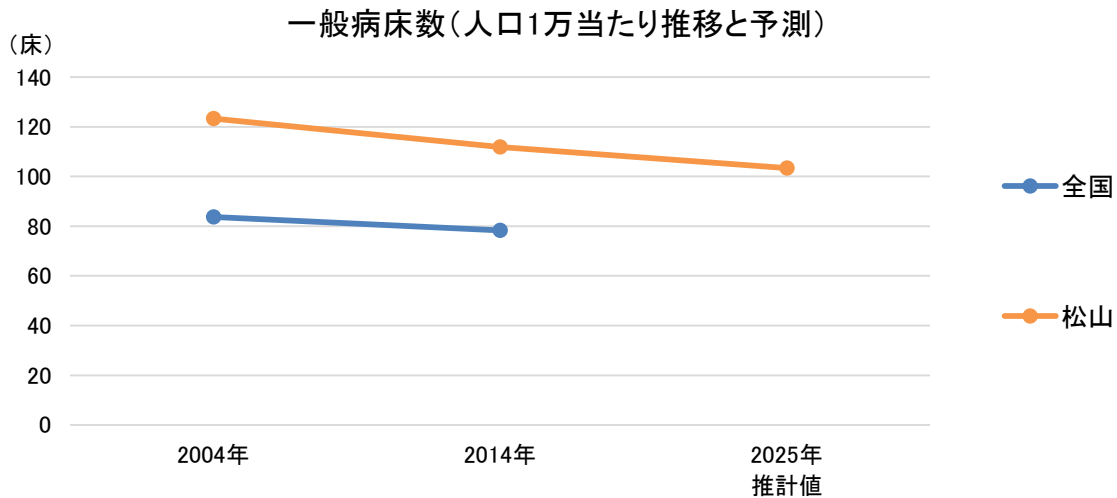
2004年の総病床数が13213床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に11619床(人口1万人当たり180(全国平均132)偏差値58)と、1594床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1838人(人口10万人当たり281人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2014年に2199人(人口10万人当たり340人(全国平均245人)偏差値60)と、361人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



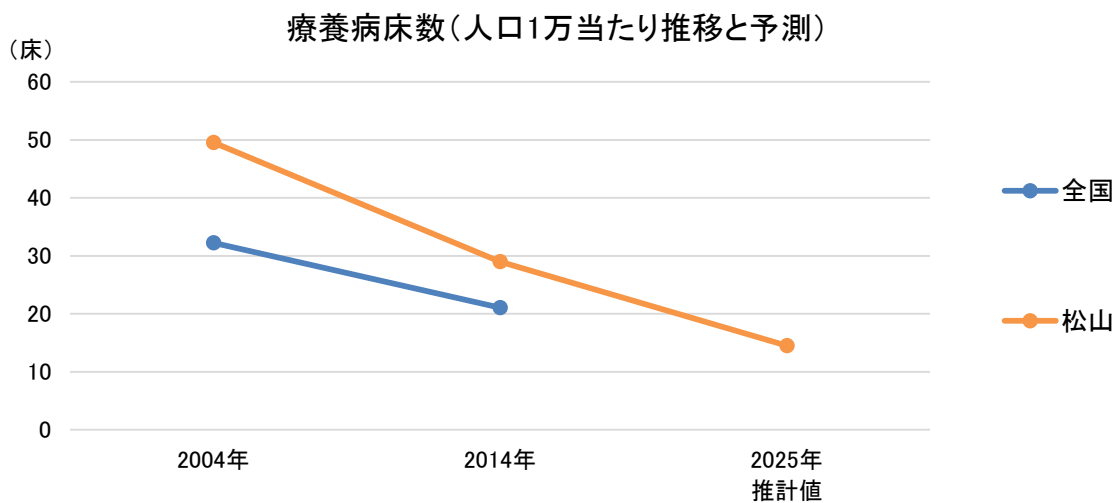
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8058床(人口1万人当たり123(全国平均84)偏差値64)であったが、2014年に7227床(人口1万人当たり112(全国平均78)偏差値62)と、831床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6313床(2025年の推計人口1万人当たり103)になることが予想される。



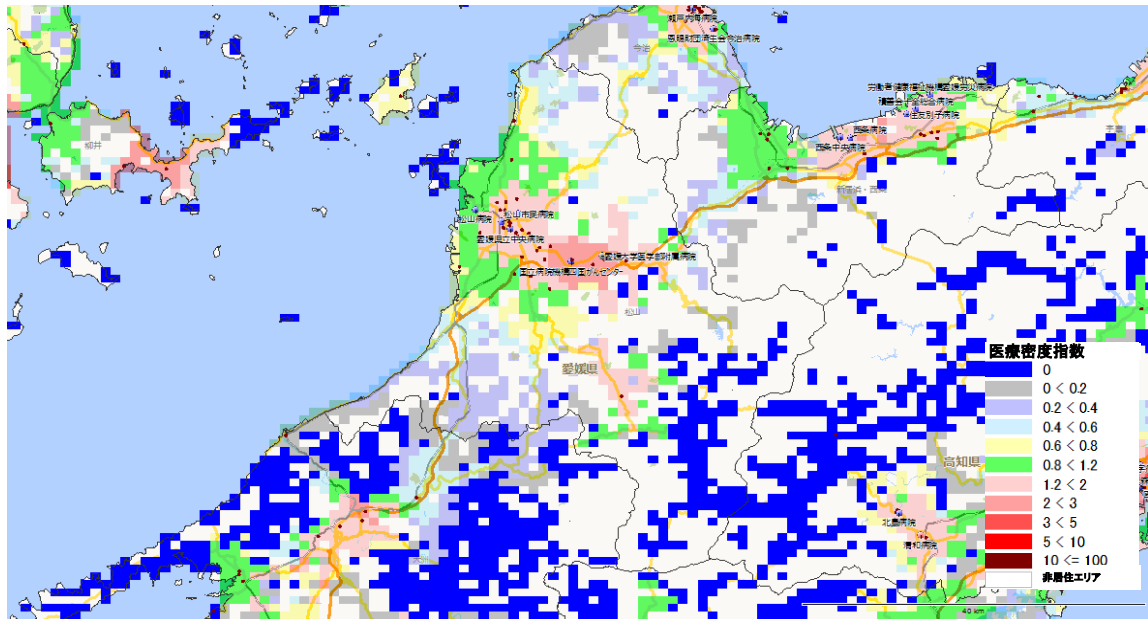
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3098床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に2397床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値57)と、701床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1626床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



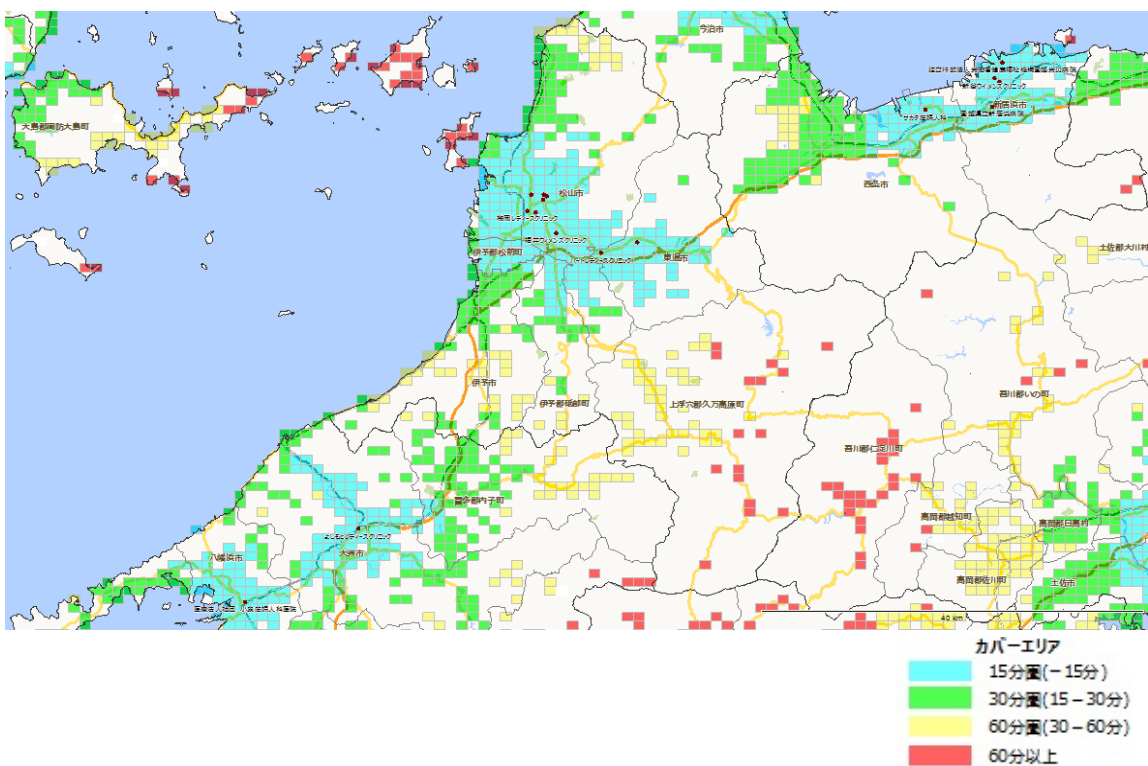
(松山医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表38-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

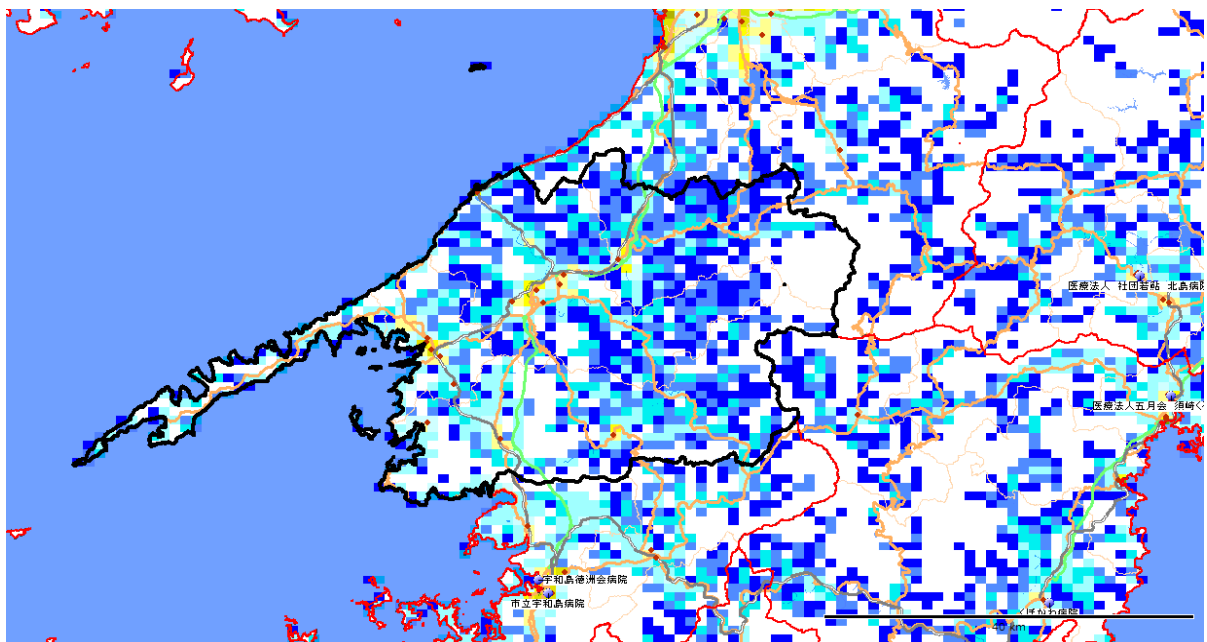
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



38-5. やわたはま おおず 八幡浜・大洲医療圏

構成市区町村⁹ [八幡浜市](#) [大洲市](#) [西予市](#) [内子町](#)
[伊方町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(八幡浜・大洲医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 八幡浜・大洲(八幡浜市)は、総人口約144千人(2015年)、面積1473km²、人口密度は98人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 八幡浜・大洲の総人口は2025年に123千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に93千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の31千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+3%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 八幡浜・大洲の一人当たり医療費(国保)は378千円(偏差値58)、介護給付費は284千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 八幡浜・大洲の一人当たり急性期医療密度指数²は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.1で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数41、診療所医師数57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。八幡浜・大洲には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は71で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 八幡浜・大洲の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3335人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2044床(偏差値54)、高齢者住宅等が1291床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2646人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム45、軽費ホーム52、グループホーム71、サ高住40である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、246人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(八幡浜・大洲医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

八幡浜・大洲医療圏の総人口は、2005年168713人が、2015年に144324人と14%減少し、2025年の人口が123084人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

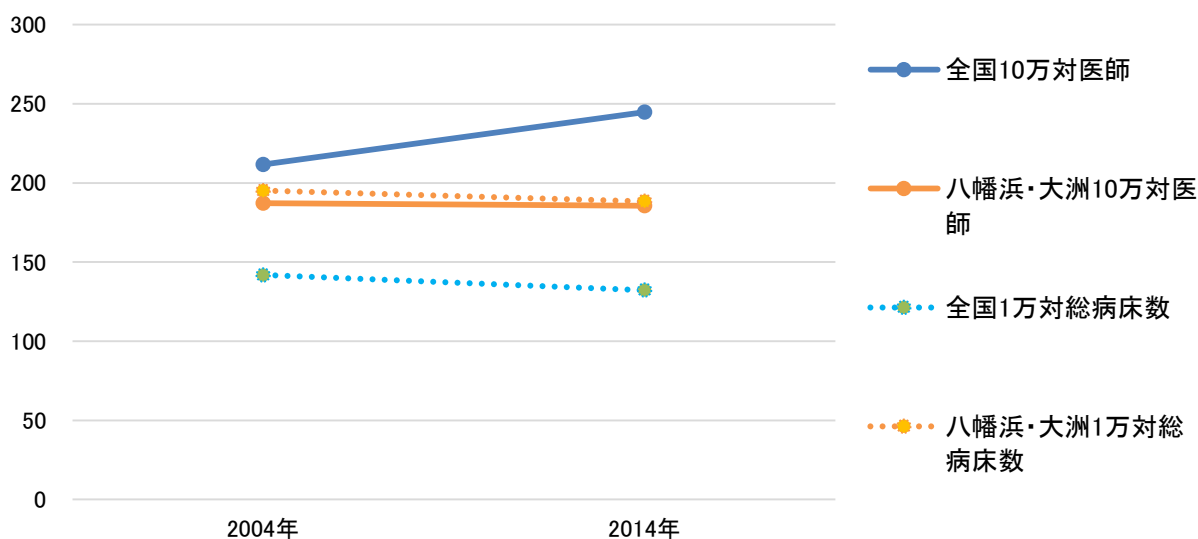
2004年の病院数が19(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に16(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が176(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2014年に172(人口10万人当たり119診療所(全国平均79)偏差値71)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が3292床(人口1万人当たり195(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に2719床(人口1万人当たり188(全国平均132)偏差値60)と、573床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

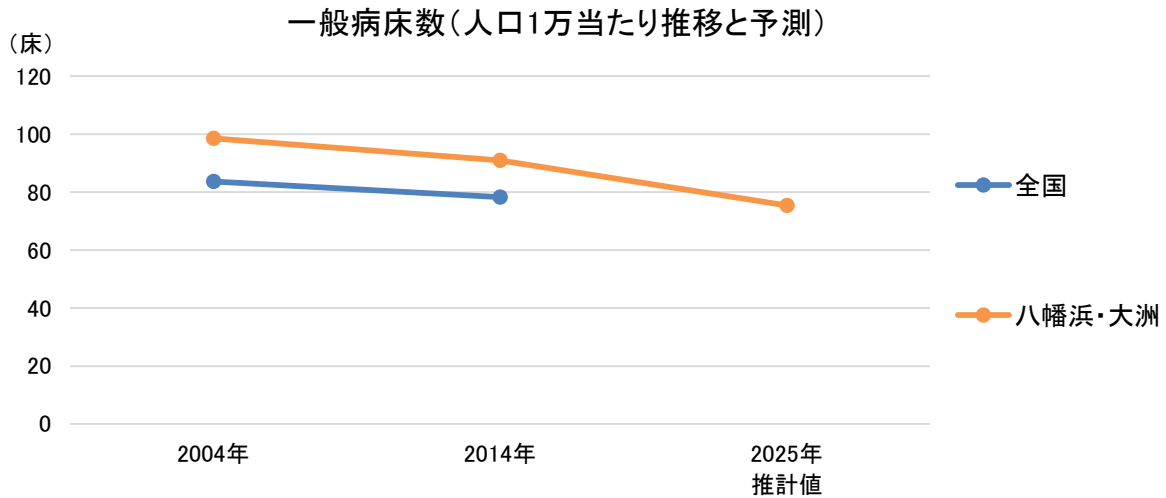
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が316人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に268人(人口10万人当たり186人(全国平均245人)偏差値44)と、48人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



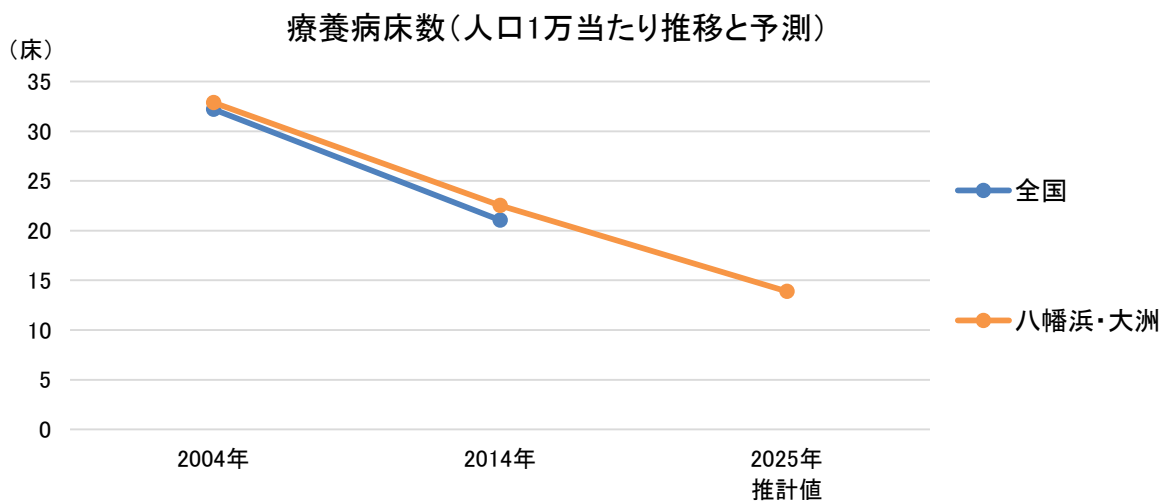
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1663床(人口1万人当たり99(全国平均84)偏差値55)であったが、2014年に1313床(人口1万人当たり91(全国平均78)偏差値55)と、350床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には928床(2025年の推計人口1万人当たり75)になることが予想される。



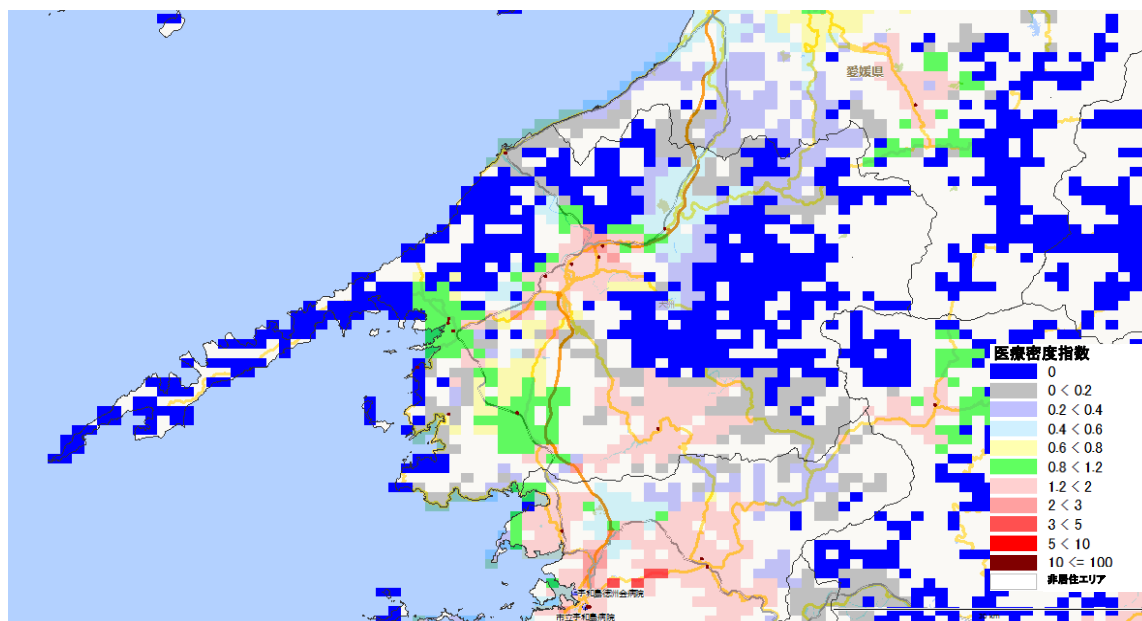
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が914床(75歳以上1000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に691床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値51)と、223床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には446床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



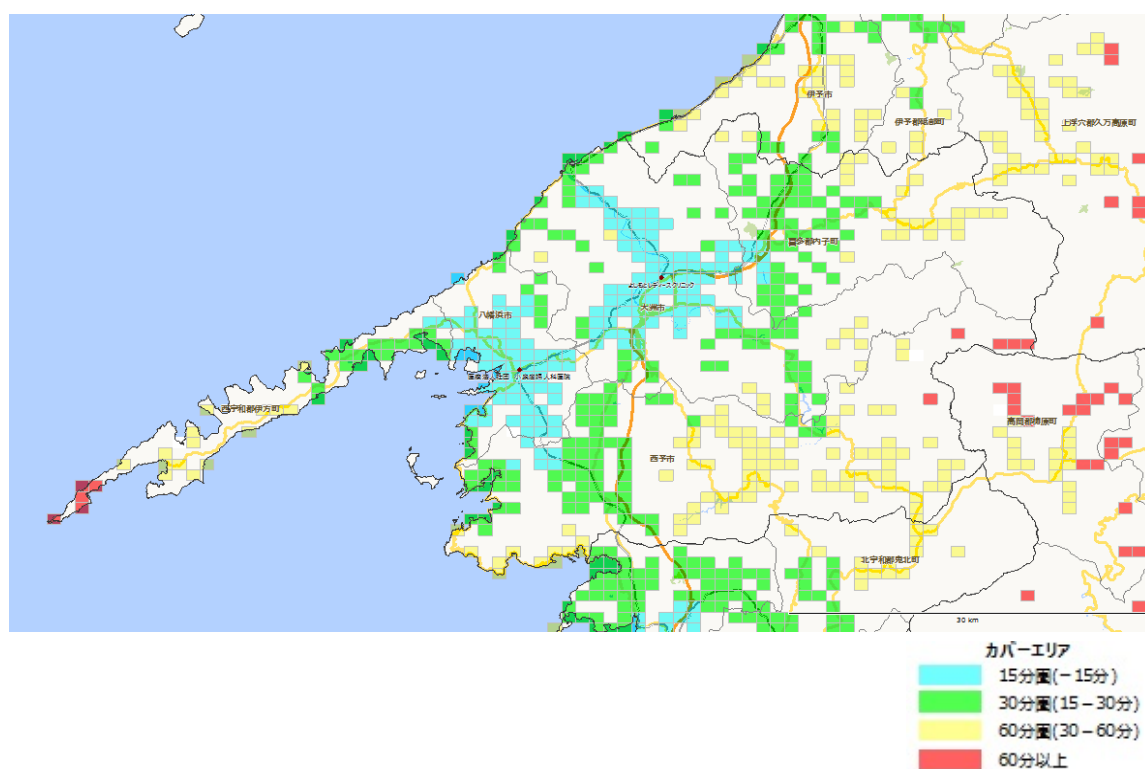
(八幡浜・大洲医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表38-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

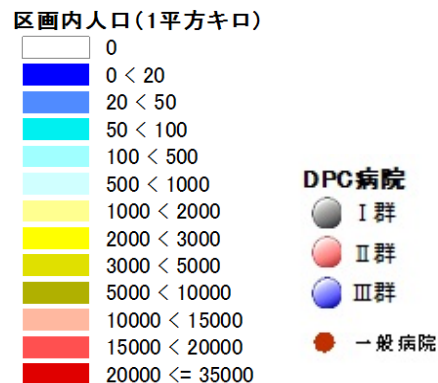
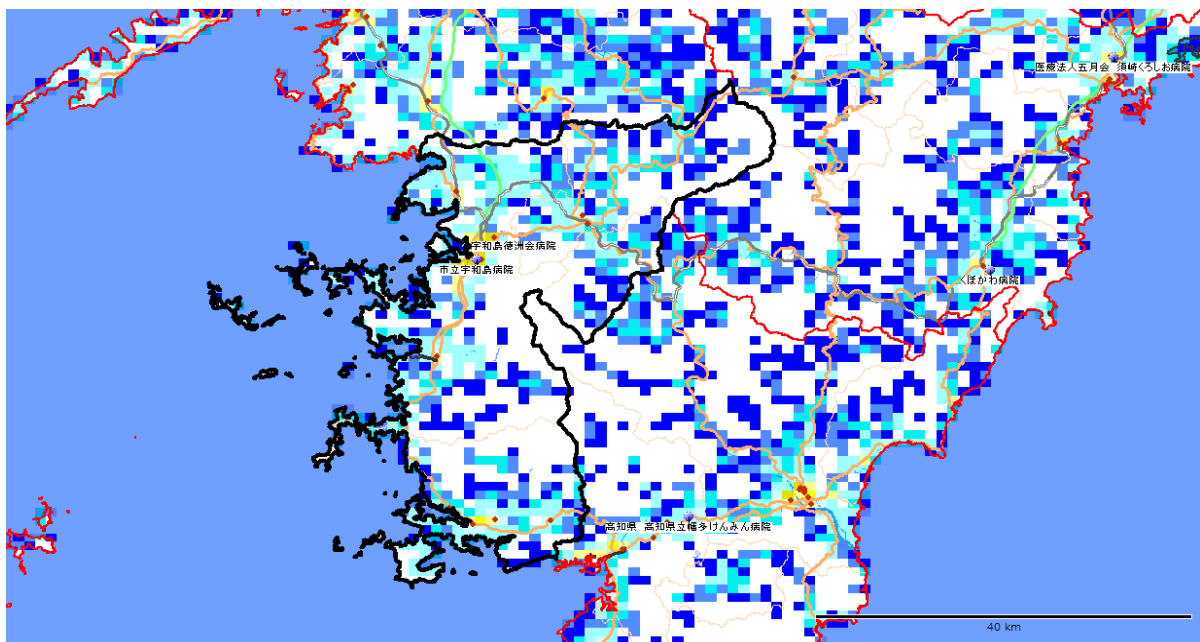
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



38-6. うわじま 宇和島医療圏

構成市区町村⁹ [宇和島市](#) [松野町](#) [鬼北町](#) [愛南町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(宇和島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宇和島(宇和島市)は、総人口約114千人(2015年)、面積1047km²、人口密度は109人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宇和島の総人口は2025年に98千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に73千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の23千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には22千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宇和島の一人当たり医療費(国保)は329千円(偏差値47)、介護給付費は307千円(偏差値65)であり、医療費はやや低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宇和島の一人当たり急性期医療密度指数²は1.57、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.25で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が50(病院医師数50、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は76で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。宇和島には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立宇和島病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は64で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宇和島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2329人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1483床(偏差値52)、高齢者住宅等が846床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1857人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値67と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、497人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(宇和島医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宇和島医療圏の総人口は、2005年133202人が、2015年に114144人と14%減少し、2025年の人口が97647人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

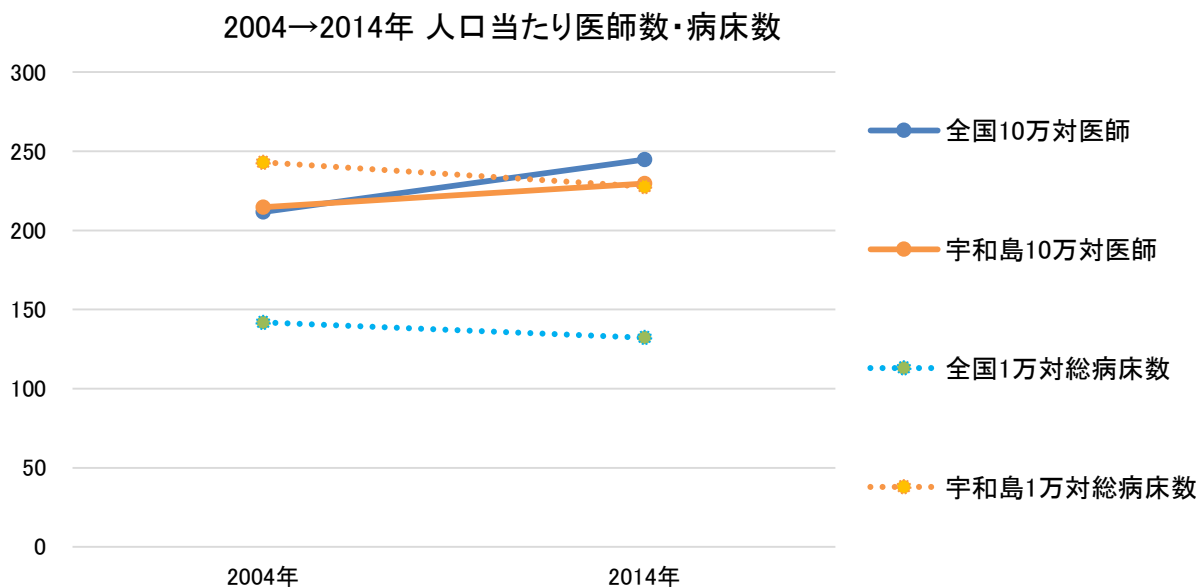
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり10.5病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に13(人口10万人当たり11.4病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が136(人口10万人当たり102診療所(全国平均76)偏差値63)であったが、2014年に120(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値64)と、16診療所が減少した。

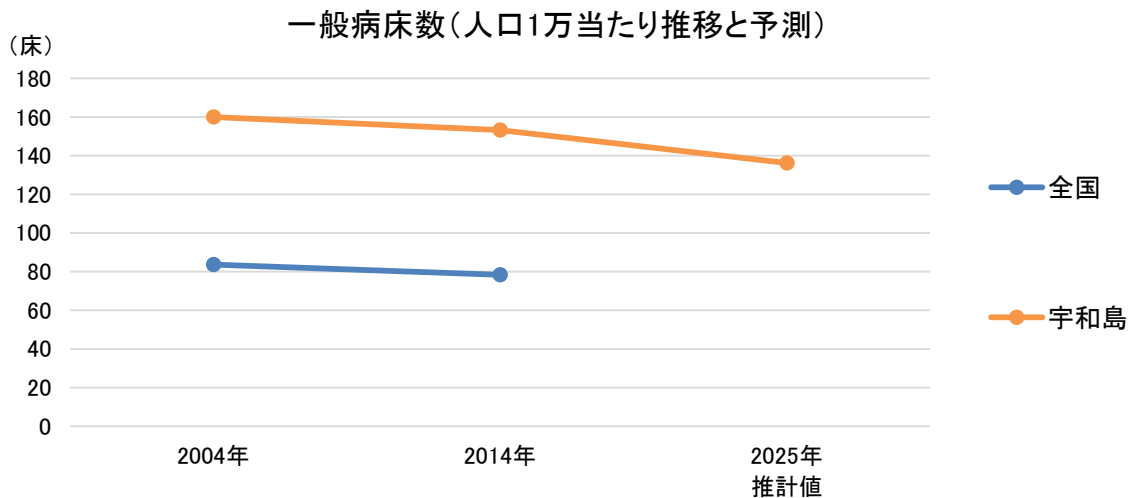
2004年の総病床数が3237床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に2599床(人口1万人当たり228(全国平均132)偏差値67)と、638床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が286人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に262人(人口10万人当たり230人(全国平均245人)偏差値48)と、24人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



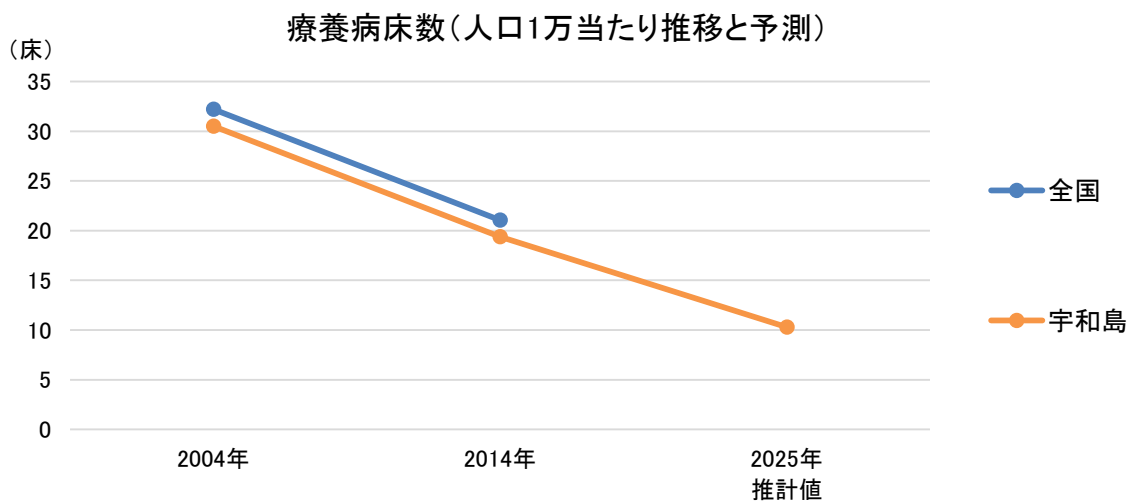
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2132床(人口1万人当たり160(全国平均84)偏差値77)であったが、2014年に1750床(人口1万人当たり153(全国平均78)偏差値78)と、382床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1330床(2025年の推計人口1万人当たり136)になることが予想される。



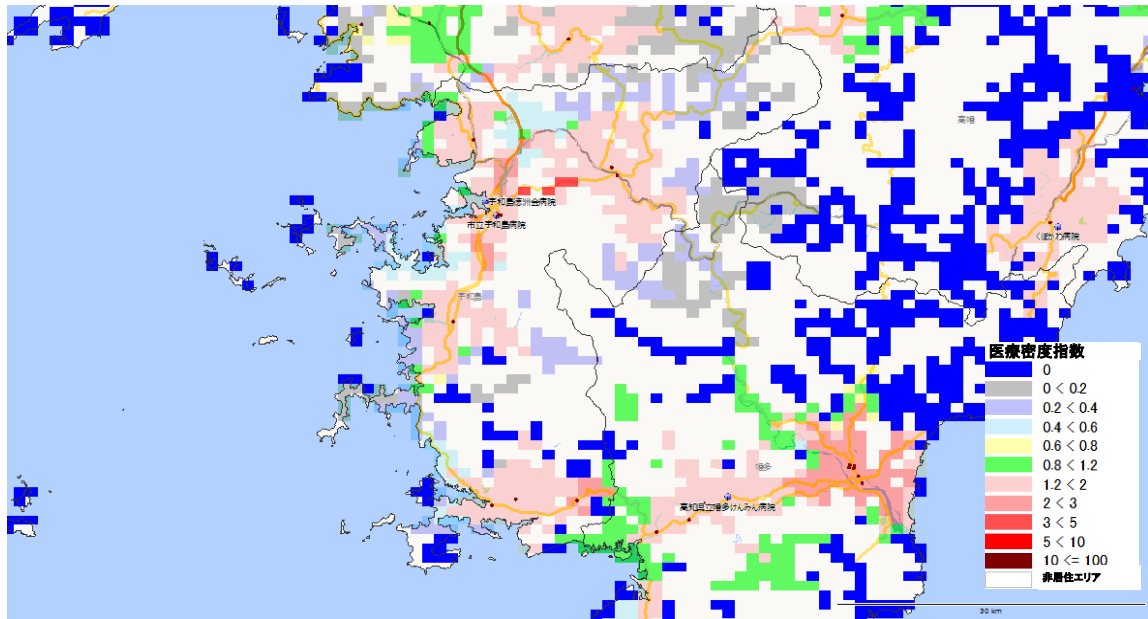
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が616床(75歳以上1000人当たり30(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に448床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、168床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には263床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



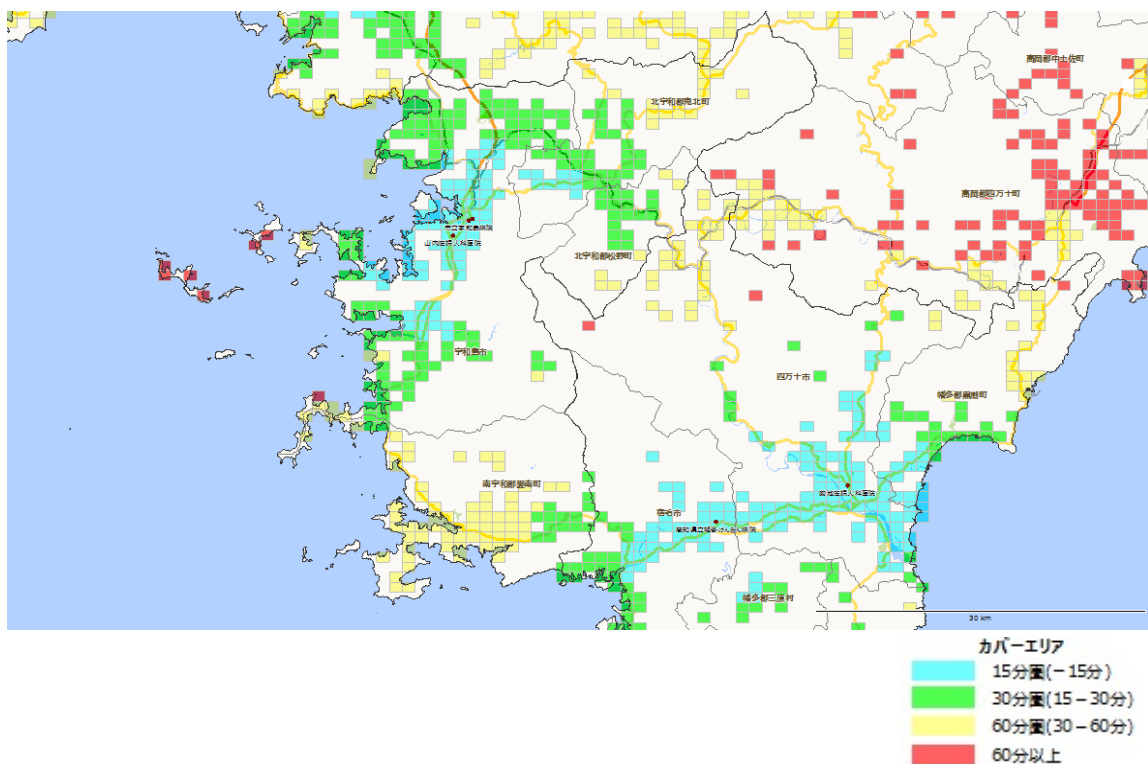
(宇和島医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表38-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.1+(75歳以上人口)×5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。